

日本医学会分科会における
女性医師支援の
現況に関する調査報告書

平成24年5月

日本外科学会女性外科医支援委員会

日本医学会分科会における女性医師支援の現況に関する調査報告書

日本外科学会女性外科医支援委員会

キーワード

- ◆ 女性医師支援
- ◆ 専門医・認定医
- ◆ 日本医学会分科会
- ◆ 外科
- ◆ アンケート調査
- ◆ 男女共同参画

ポイント

- ◆ 日本医学会分科会は本邦の医学界における学会活動の中心であり、そこにおける女性医師への支援は他の学会の手本になることが期待されている。
- ◆ 日本医学会分科会における女性医師の学会活動の現況を把握することを目的に、日本医学会分科会110学会を対象に実施した。第1回目を2008年に、今回が第2回目で3年後の調査である。回答は105学会から得られた(回収率95.5%)。
- ◆ 日本医学会分科会の女性医師の割合は16.4%、2010年入会の女性医師の割合は25.9%で女性会員は増加傾向にあり、外科系12学会の女性会員も増加していた。
- ◆ 女性医師の会員率が高い学会においても女性の評議員・役員を選任率が低かった。女性評議員が存在しない学会は3学会あったが、全て外科系であった。また、外科系12学会では女性役員は存在しなかった。評議員・代議員の男女共同参画では目標値を定めることを提案したい。
- ◆ 女性の委員会委員が少なく、ルールを変えることが困難な状況にあることが明らかになった。今後、意思決定に女性の視点も必要と思われる委員会には必ず女性委員を1名以上含むなどの、多様性を尊重した学会運営を期待したい。
- ◆ 女性医師の専門医・認定医の取得率は大部分の学会で男性医師に比べて低く、外科系学会ではさらに少なかった。
- ◆ 妊娠・出産、育児休業 および介護などの“ライフイベント”が、資格更新期間の延長条件に前回の調査より多くの学会において含んでいた。
- ◆ 男女共同参画・女性医師支援を目的に、下部組織は学会による積極的な介入および行政への働きかけが可能であり、外部団体は小回りがきき、効果的に活動できる特徴があり、両者を活用したい。
- ◆ 日本医学会分科会から、支援を目的とした種々の具体案がだされた。今後の発展に期待したい。

はじめに

初期臨床研修制度をきっかけに外科医志望数が著減しました。昨今、若干の回復傾向がみられるものの、期待する数値にはほど遠い状況です。その著減傾向に抑制をかけているのが女性外科医を目指そうとする若い女性医師数の増加で、その成長に期待が寄せるところです。尚、この期待感は外科領域にととまらず、ほぼ全ての臨床医学系学術集団(いわゆる「学会」、以下、学会)において共通で、キャリアアップのための体制作りが必要との理念は形成しようとの意気込みはみられるものの、女性医師を育成するために必要とする日本の社会体制・構造の再整備や慣習的規制等の改革が実際には進まぬ状況にあることが、大きな障壁となっています。その背景要因としては、日本の経済力の回復が十分にみられぬこと、社会的人材資源への考え方に関する国民教育が進まず本質的な概念形成に到っていないこと、が想定されています。

既に米国では教授職を始めとする指導的立場で多くの女性外科医が活躍し、その代表格の方々については本邦の外科系学会として特別講演演者の招請ということで目にできています。一方、現状の本邦の女性外科医を育成せんと理解度については、約20年前の米国のそれに相当するのではと想定しております。今日の日本では、目指そうとする方向性の動機付けが明確で確固たる意志が女性医師にあったとしても、キャリア形成の最大の難問とも言える、キャリア形成への努力姿勢に対する社会的評価(家族も含めて)の考え方について熟成度が不十分なこと、結婚後の妊娠・出産、育児そして子供教育等のための時間的制約が大きいこと、などが彼女たちの眼前に立ちはだかっています。日本の社会的構造全体を変革すべくワークライフバランスという理念が政策的に導入されつつあるものの、その急速な進展はみられません。只し、幸いにも若い世代にはその考え方が徐々に浸透しつつあることは事実です。そこで、将来の在り方を見据えて、今何が問題なのか、その解決の為に何を成すべきかを目的として、日本外科学会は、下部組織である女性外科医支援

委員会活動の一環として、2009年の第109回日本外科学会学術集会以来今日まで、定期学術集会では学術プログラムの特別企画において、女性外科医のキャリア形成に関し、解決策の探索、そして行政あるいは社会へ何をどう働きかけるべきか、について討論を重ねてきて参りました。これまでに、多くの方々の強力をいただいて、解決策の探索のために重要となる資料作成を目的としてアンケート調査をさせていただいて参りました。女性医師のキャリア形成に有用な展開を作るべく重要な資料となっております。

このたびは、「日本医学会分科会における女性医師支援の現況」を分析し、とくに日本外科学会における女性医師会員の学会活動とキャリア形成支援の在り方を考える目的で、アンケートを実施させていただきました。110分科会にアンケートを依頼し、105学会からご回答を賜りました(回答率95.5%)。このアンケート結果が、今後の正しい展開へ役立つものと確信いたしております。分科会の責任者および事務局様にはご多忙中、主旨にご理解を賜り、ご回答にご協力をいただきまして、心より感謝し御礼申し上げます。ありがとうございました。

平成24年3月

日本外科学会女性外科医支援委員会

委員長 平田 公一

日本外科学会女性外科医支援委員会

委員長

平田 公一

副委員長

前田 耕太郎

安藤 久實

柴崎 郁子

田口 智章

竹下 惠美子

富澤 康子 ☆

野村 幸世

葉梨 智子

山下 啓子

(五十音順)

☆ … 分析担当者

目次

1. 調査の背景と目的	1
2. 調査設計	2
3. 調査票の作成及び分析について	2
4. 分析結果	3
1. 学会における女性の割合（平均値）	3
2. 学会における女性の割合（散布図）	6
3. 認定医・専門医の制度について	11
4. 認定医・専門医の更新期間の延長について	17
5. 認定医・専門医の更新期間の留保条件について	18
■学会全体	18
■外科系学会	19
6. 男女共同参画・女性医師支援に関連する下部組織について	20
7. 男女共同参画・女性医師支援に関連する外部団体について	22
8. 昨年度の男女共同参画・女性医師支援関連のセッションについて	23
9. 女性医師支援のための具体案	25
10. まとめ	29
11. 回答協力学会名（五十音順）	30
表1 女性医師数・割合	31
表2 女性医師専門医・認定医数	34
表3 女性評議員・役員・編集委員数	37
表4 各委員会における女性委員数	40
調査票	44

1. 調査の背景と目的

学会活動はキャリア形成に欠かせない。2000年7月に日本ではじめて、本邦における女性医師の学会活動の現状に関して日本医学会分科会92学会に対しアンケート調査が行われた。その結果、女性では認定医・専門医の取得率が低く、評議員・理事などの学会役員の選任率が極めて低く、女性の視点から見た問題点が把握されにくいことが指摘された。日本外科学会女性外科医支援委員会は2008年に日本医学会分科会105学会に対し調査を行った。本調査は前回から3年後のものである。

本調査は2011年の日本医学会分科会所属学会における女性医師数と割合、評議員・役員数、委員会委員数、認定医・専門医などの取得状況、更新の留保条件、学会託児所の設置状況、女性医師の学会活動と支援について諸学会が行っている現況を調べ、今後の方策を得ることを目的とした。

最近の日本における医師国会試験の受験者数では女性が増加しており、それに伴い、学会の新入会員にしめる女性の割合が増加している。日本医学会分科会における男女共同参画における変化を捉え、今後の方策を考える機会としたい。

2. 調査設計

- ①アンケート対象 日本医学会分科会 110学会
- ②調査期間 2011年6月下旬～8月末
- ③調査方法 日本外科学会事務局から日本医学会分科会の各事務局に質問用紙をメールに添付した。回収はメールまたはFAXで行った。なお、回答されない学会にはメール、電話、または手紙で催促した。
- ④回答学会数 105学会(回答率 95.5%)

3. 調査票の作成及び分析について

調査票の作成および分析、考案は日本外科学会女性外科医支援委員会が行い、調査票の送付および回収は日本外科学会事務局が行った。

質問内容については、学会名、2010年度入会、評議員数、理事数、専門医・認定医の制度、専門医・認定医制度の期間留保条件について、また、さらに、委員会の構成人数、女性医師支援・男女共同参画に関する下部組織の有無、外部団体の有無、学術集会での男女共同参画・女性医師支援関連のセッションの有無、行っている女性医師への具体策、等と、した。

110学会のうち105学会から回答が得られた。残り5学会(日本医療情報学会、日本矯正医学会、日本細菌学会、日本生化学会、日本精神神経学会)は多数回要請したが、回答が得られなかった。

今回は単純に集計したが、集計・分析にあたってはメディカルデータ・マネジメント 水上和寅氏の協力を得た。

本調査を日本外科学会女性外科医支援委員会が行ったため、日本医学会分科会の中の外科系12学会についても考案を加えた。

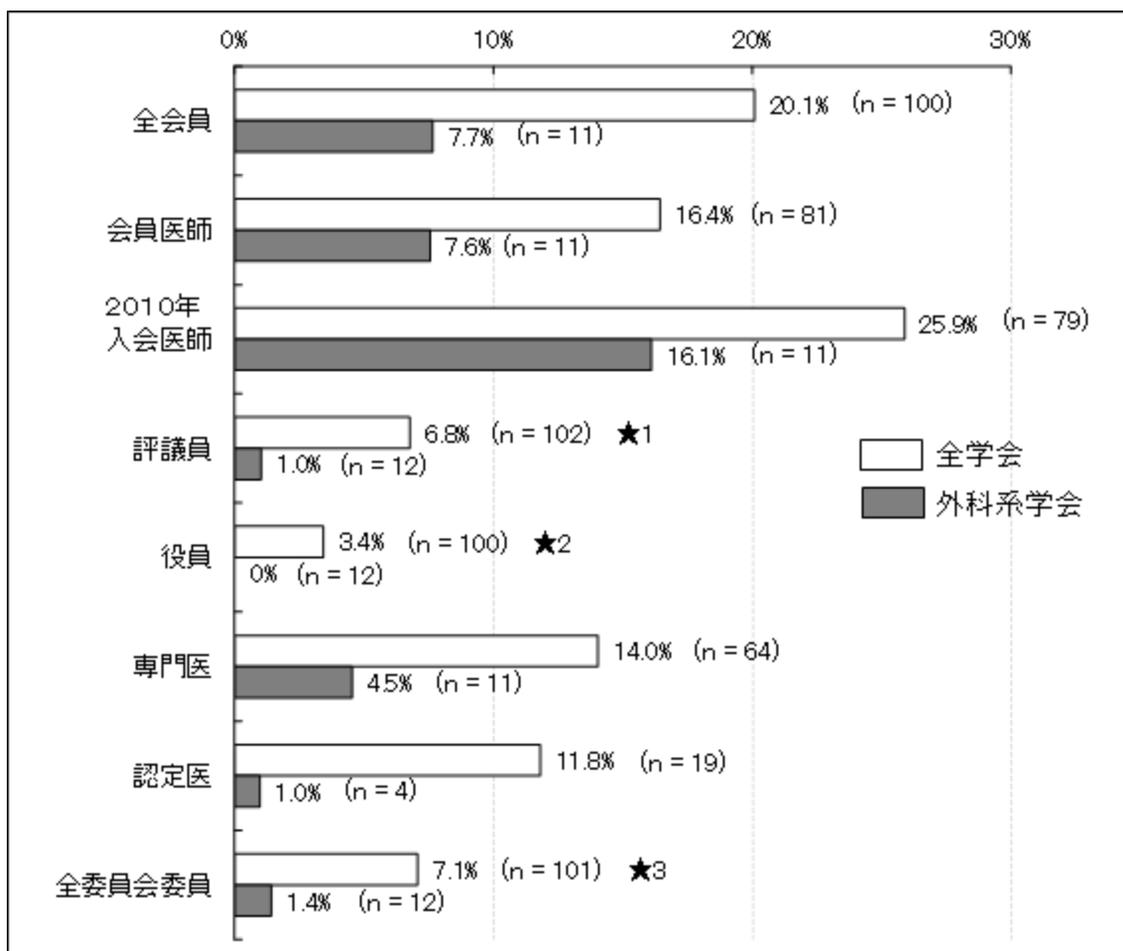
なお、本調査の結果の一部は、日本外科学会雑誌113巻3号(5月)322-330頁、2012年に掲載されている。

4. 分析結果

1. 学会における女性の割合（平均値）

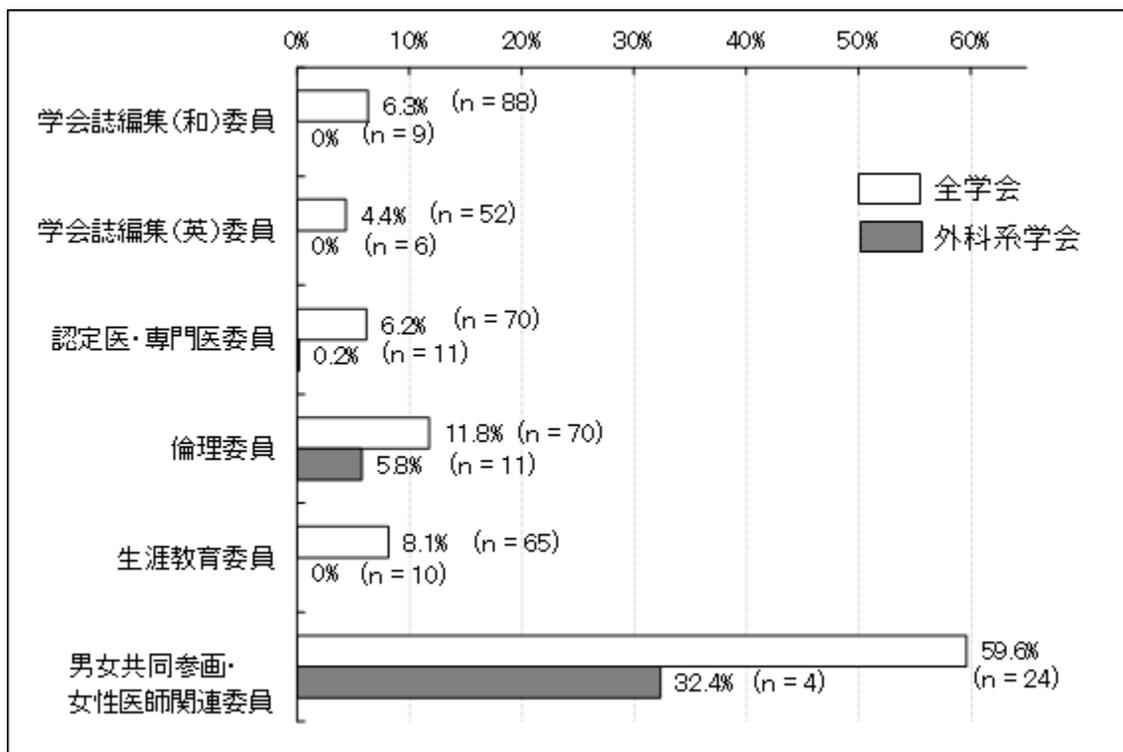
日本医学会分科会の女性医師の会員の割合は16.4%、外科系学会では7.6%であった(図1-1)。2010年入会の医師数は、全体で女性が25.9%に、外科系学会でも増加し、16.1%であった。

図1-1 学会における女性の割合（平均値）



注) ★1:99学会/102学会、★2:45学会/100学会、★3:92学会/101学会

図1-2 各委員会における女性の割合（平均値）



各委員会における女性の割合(図1-2)では、全学会では男女共同参画・女性医師関連委員が59.6%で、女性委員が多い順に倫理委員会で11.8%、教育委員会8.1%であり、特に意思決定に女性の視点も必要と思われる委員会においても、女性の割合が少なかった。

外科系学会における女性の登用は、全学会の全ての委員会に比べて少なかった(図1-2)。男女共同参画・女性医師関連委員が32.4%であったが、次いで多い順に倫理委員会5.8%、認定医・専門医委員の0.2%で、学会誌編集委員、教育委員に女性は含まれなかった(表4)。

図1-3 学会における女性の割合 [前回との比較] (平均値)

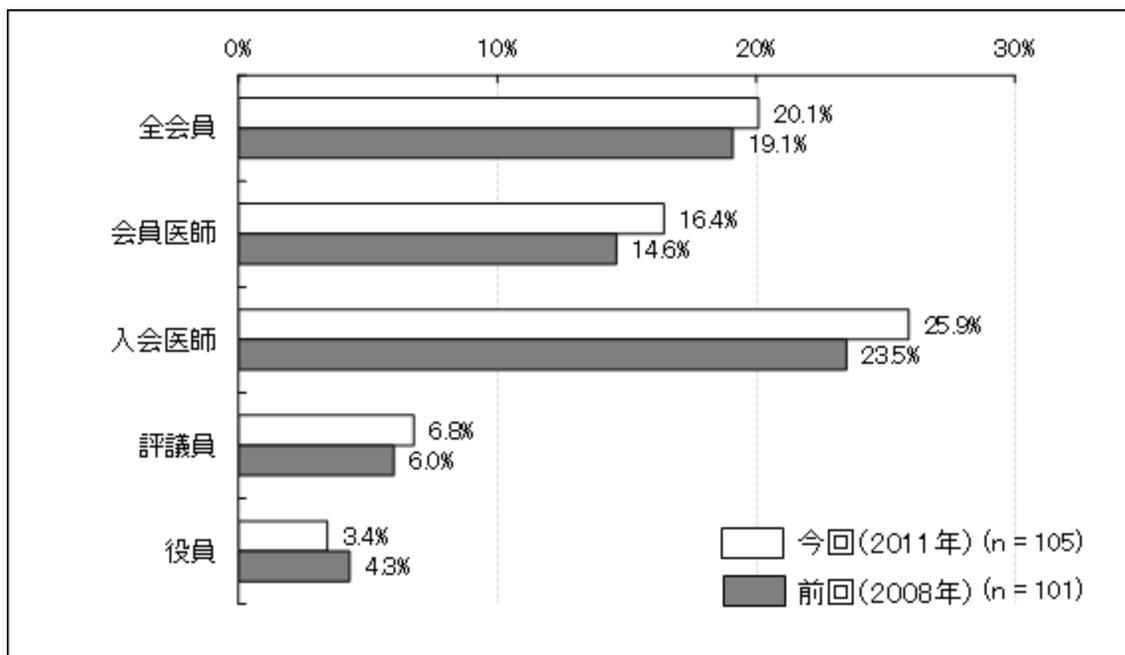
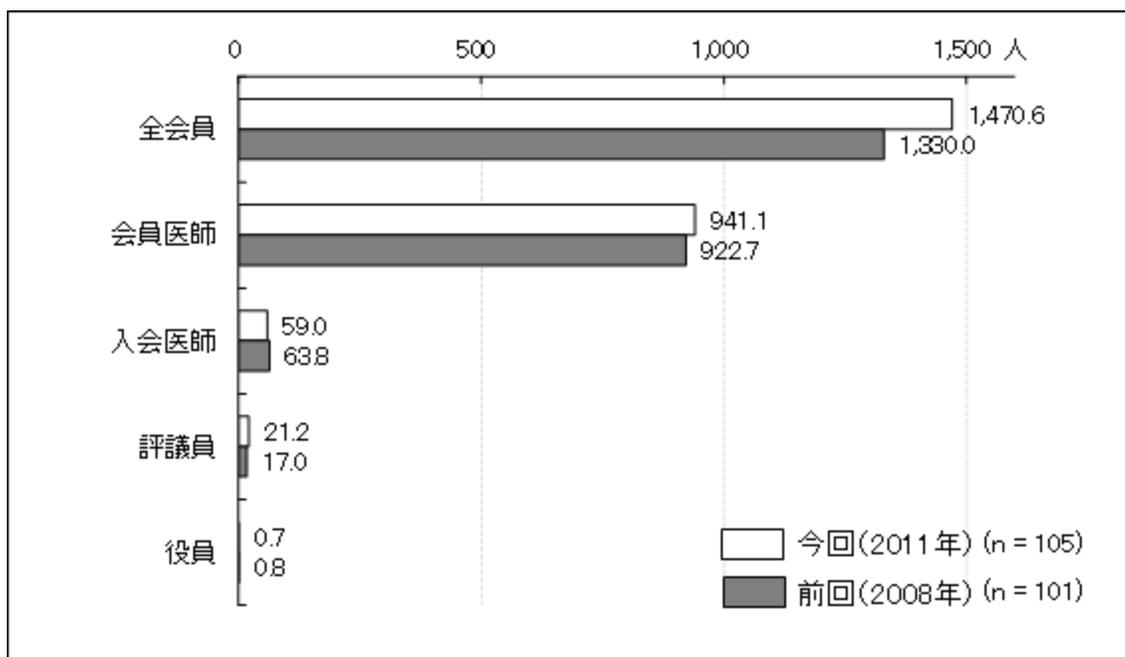
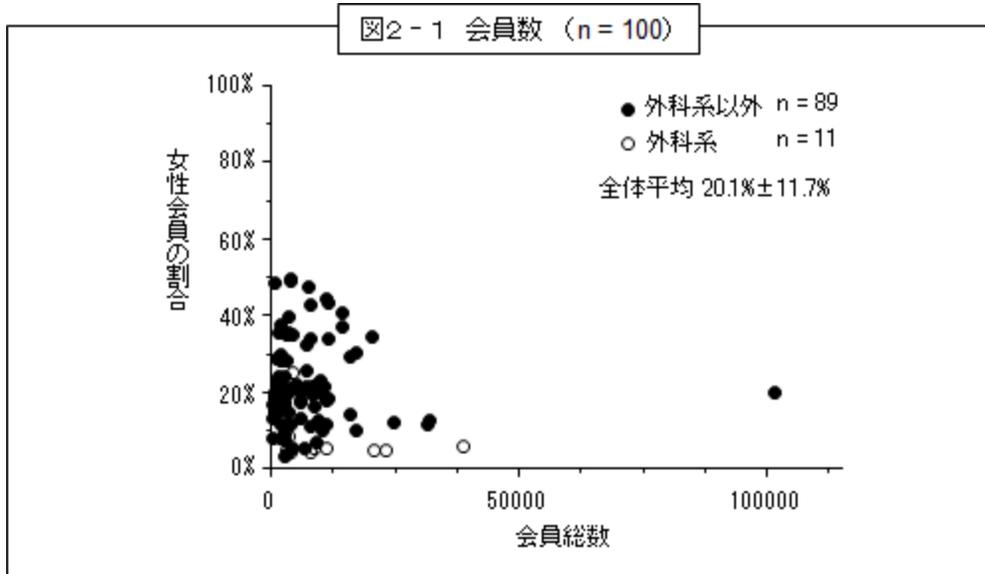


図1-4 1学会あたりの女性の人数 [前回との比較] (平均値)



日本医学会分科会における女性の、割合(図1-3)および1学会の女性の人数(図1-4)に関して、前回の2008年に比べた今回2011年の調査結果を示す。(図1-3)。しかし、女性会員、女性医師の会員、入会した女性医師、女性評議員は2008年の調査より増加していたが、女性役員は減少した。

2. 学会における女性の割合（散布図）

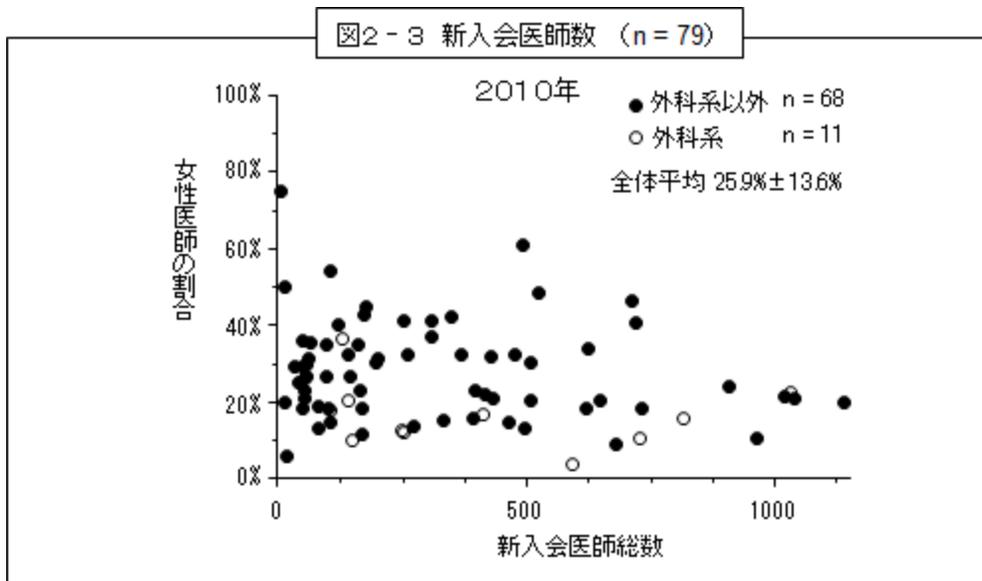
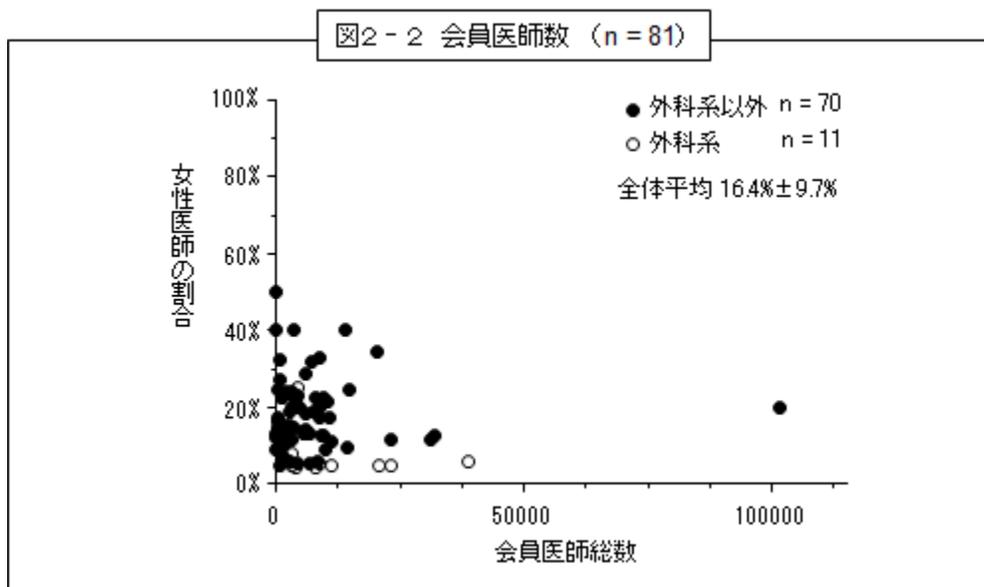


会員数が最も多かったのは日本内科学会(101,567人)、最も女性医師の会員数が多かったのも日本内科学会(20,201人)であった(図2-1)(表1)。会員(医師を含む)の中で最も女性の割合が多かったのは日本輸血・細胞治療学会(60%)であった。

医師の会員(図2-2)(表1)で女性が多いのは、日本内科学会(20,201人)、日本小児科学会(6,905人)、日本眼科学会(5,629人)の順であった。女性医師の割合が多い学会は日本眼科学会(40%)、日本小児神経学会(40%)の順であった。

外科系学会では女性医師数が多いのは外科(2,314人)、整形外科(1,113人)、形成外科(1,084人)の順であった。女性医師の割合が多い外科系学会は形成外科(25%)、小児外科(12%)、手外科(8%)、外科(6%)の順であった。

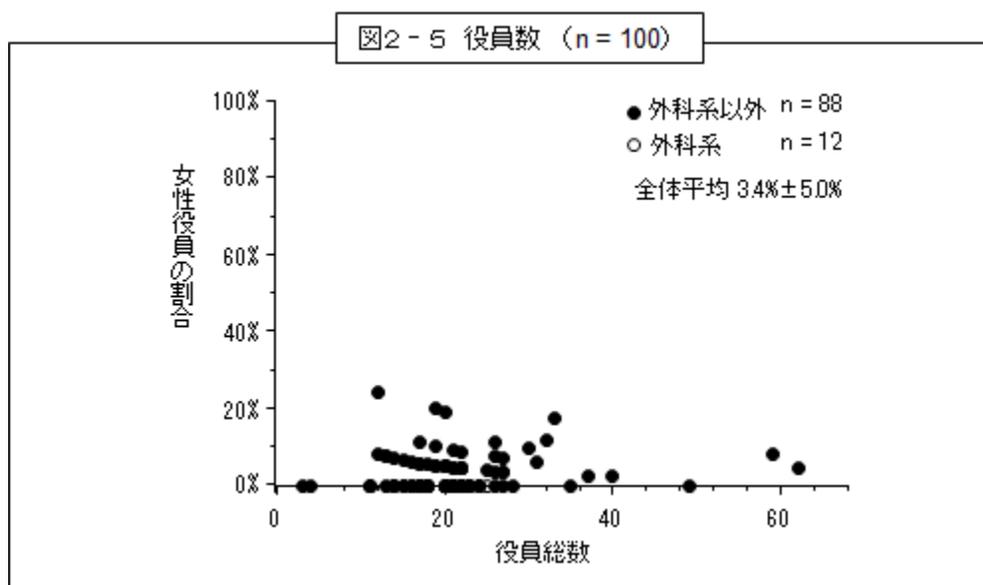
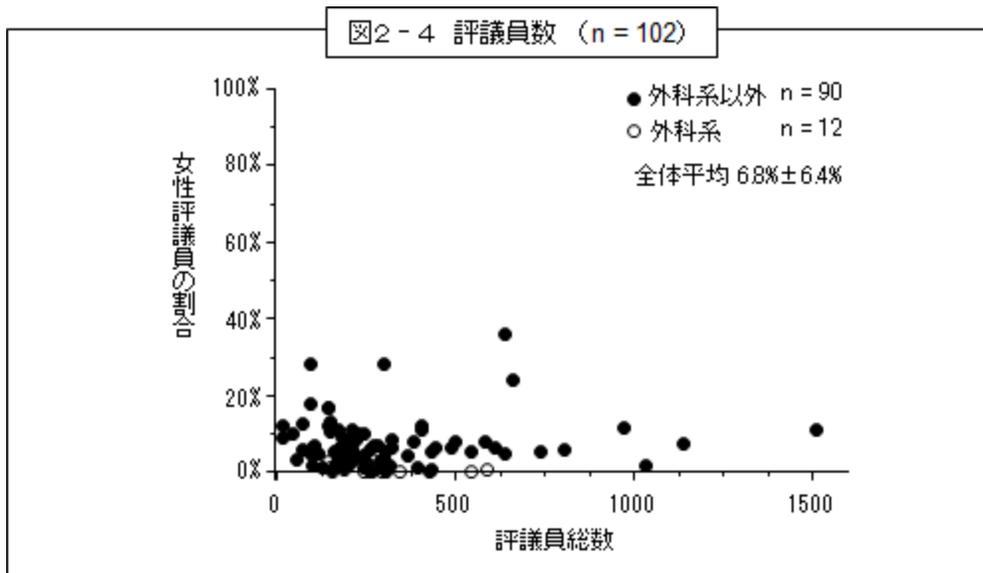
ただし、女性医師数が多いことが予想される学会(日本産科婦人科学会、日本皮膚科学会、他)において、本調査では女性医師を記入していただけていない。



2010年の新入会医師(図2-3)で女性の数が最も多かったのが日本周産期・新生児医学会(328人)であった(注)。新入会医師の半数以上を女性が占めていたのは日本保険医学会(75%)、日本産科婦人科学会(61%)、日本生殖医学会(54%)、日本生体医学会工(50%)の4学会であった。

外科系学会で新入会医師の女性数が多い順に日本外科学会(230人)、日本消化器外科学会(128人)、日本内視鏡外科学会(74人)で、新入会の女性医師の割合が多かったのは日本形成外科学会(37%)、日本外科学会(22%)、日本手外学会科(20%)の順であった。

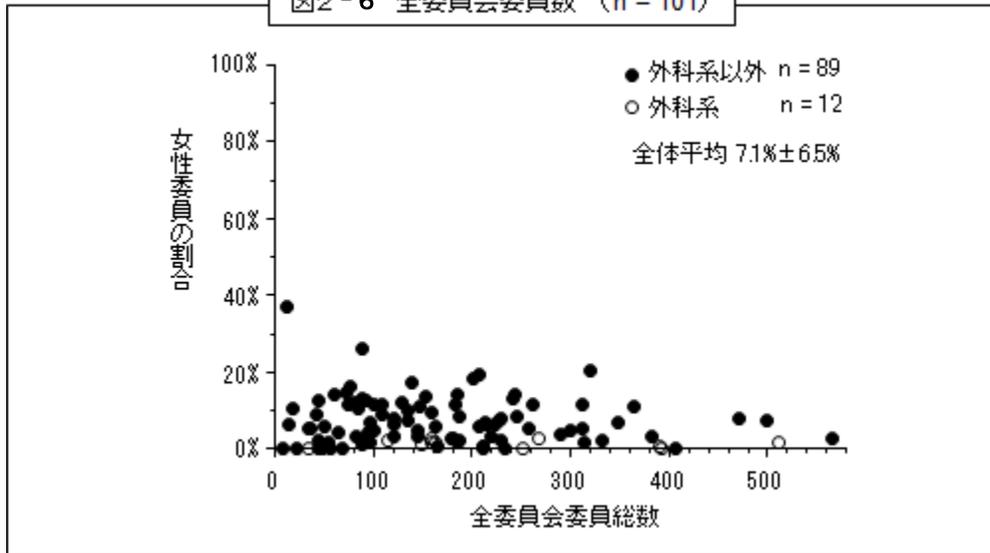
注) 日本内科学会の新入女性医師数は記載されていなかった(表1, 32頁)。



評議員の20%以上が女性であったのは4学会(日本産業衛生学会、日本医真菌学会、日本公衆衛生学会、日本心身医学会)のみであった(図2-4)(表3)。外科系学会では女性の評議員は日本小児外科学会(17人)、日本形成外科学会(4人)、日本内視鏡外科学会(3人)、日本脳神経外科学会(2人)、日本心臓血管外科学会(2人)、日本手外科学会(1人)、日本外科学会(1人)、日本胸部外科学会(1人)、日本呼吸器外科学会(1人)の9学会に存在し、日本小児外科学会の6%が一番割合が多かった。全体で女性の評議員が存在しなかったのは日本血管外科学会、日本消化器外科学会、日本整形外科学会の3学会で、すべて外科系学会であった。

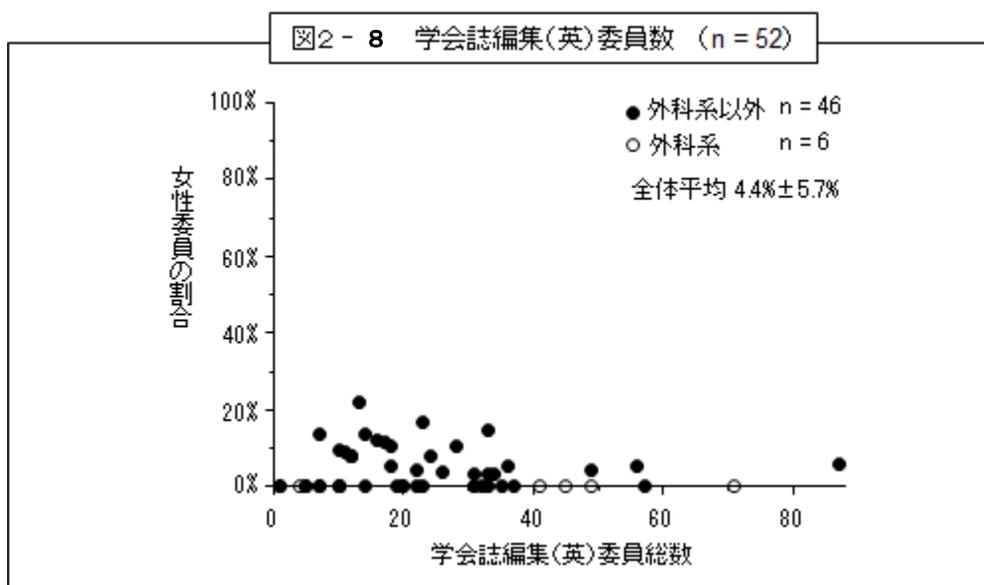
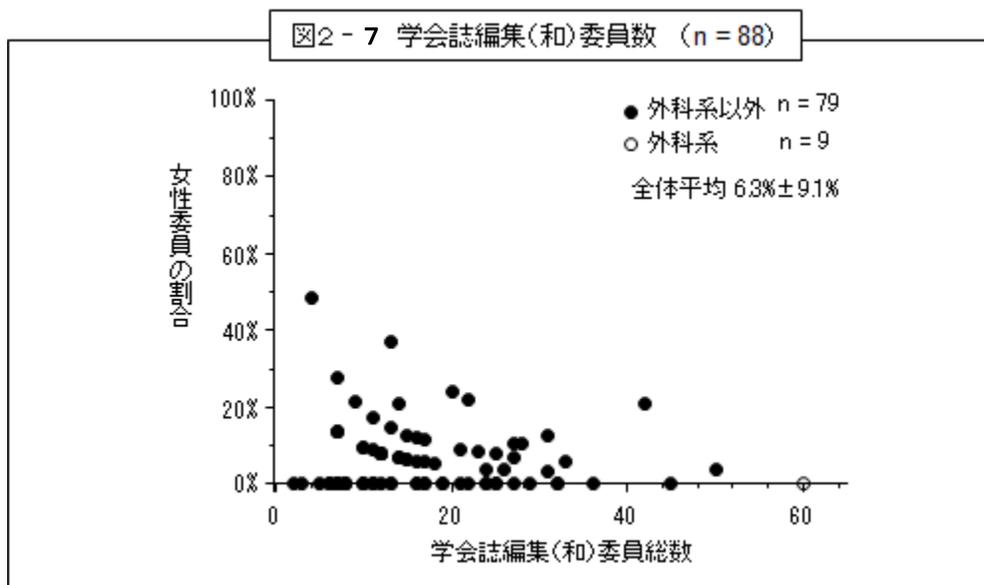
女性の役員は外科系学会では存在しなかった(図2-5)(表3)。

図2-6 全委員会委員数 (n = 101)



全委員会の委員数には101学会が回答し、委員数が多かった順に日本癌治療学会(566名)、日本外科学会(511名)、日本輸血・細胞治療学会(500名)であった。女性委員が存在した学会数は92学会あり、女性委員の多い順に、日本乳癌学会(68名)、日本小児科学会(41名)、日本人類遺伝学会(41名)であった(図2-6)(表3)。

外科系学会において女性委員が多い順に日本外科学会(8名)、日本形成外科学会(8名)、日本心臓血管外科学会(5名)であったが、女性委員の割合は、多い外科系学会でも8人以下で、しかも3%であった。外科系学会において女性委員が存在しなかったのは、2学会(日本血管外科学会、日本呼吸器外科学会)であった。

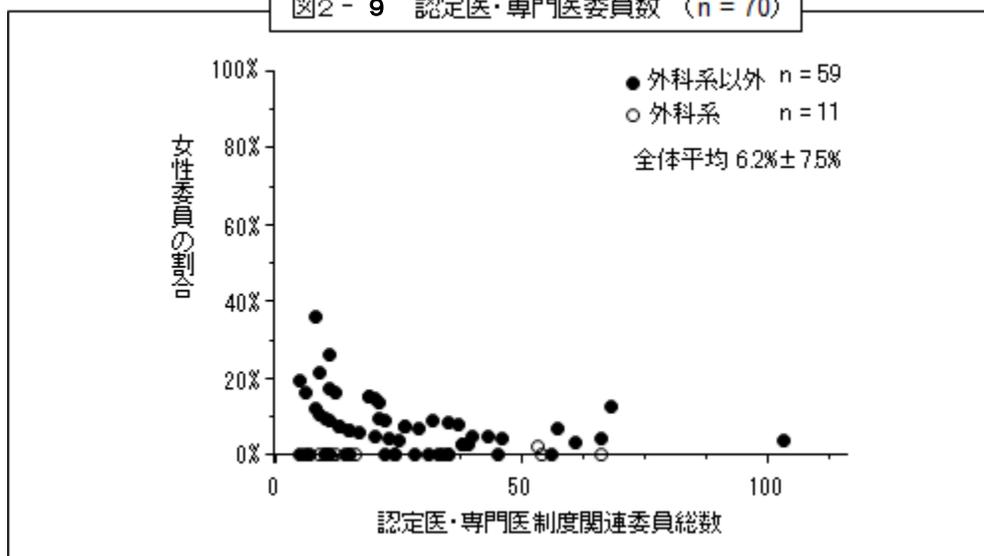


邦文誌編集委員は88学会に2名から60名、女性の邦文誌編集委員は44学会に、1名から9名存在した(図2-7)(表4)。

英文誌編集委員は52学会に1名から87名存在し、女性の英文誌編集委員は25学会に1名から5名存在した(図2-8)(表4)。

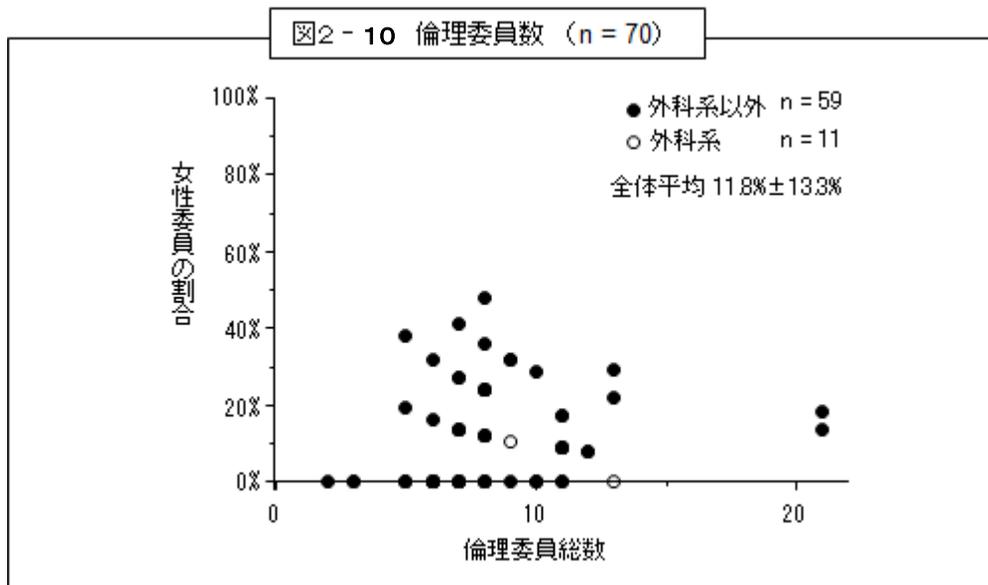
外科系学会における編集委員総数は412名であったが、女性委員は皆無であった。

図2-9 認定医・専門医委員数 (n = 70)



認定医・専門医制度委員会は、外科系12学会のうち血管外科学会を除く11学会にあり、その人数は9名から66名であった。女性委員は1学会(日本外科学会)に1名存在した(図2-9)(表4)。

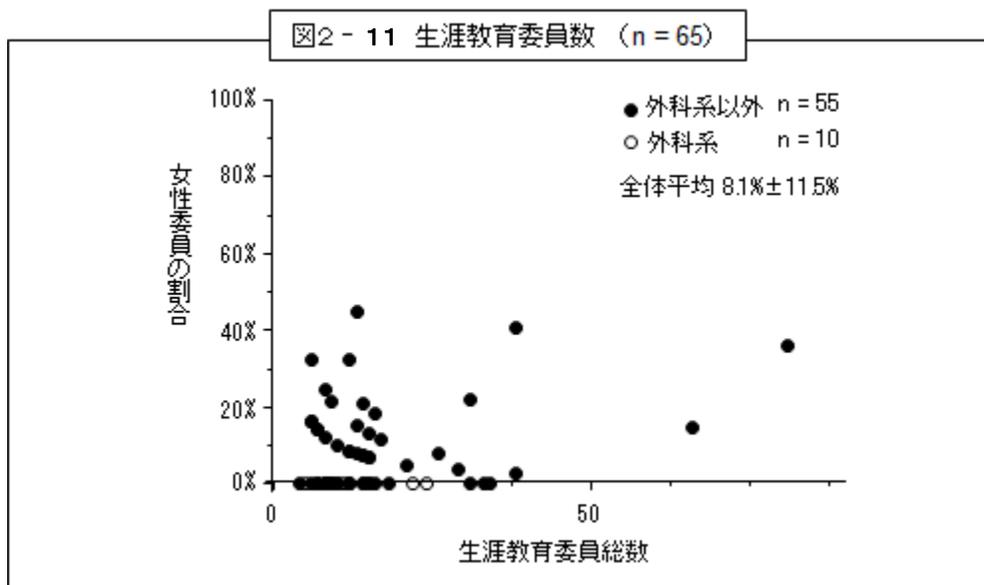
作成者コメント: 日本外科学会の女性専門医認定制度委員に、活動内容を後日、調査したところ、委員会は試験日に、つまり1年に1度集まって試験監督を行う実務が主で、制度について考える機会はなく、何か発言する、などの時間はないとこのことであった。



倫理委員会は70学会にあり、委員数は2名から21名であり、女性委員は38学会に存在し、人数は1名から4名であった(図2-10)(表4)。

外科系学会のうち、日本血管外科学会を除く11学会に倫理委員会があり、女性委員がいたのは4学会(日本形成外科学会、日本小児外科学会、日本整形外科学会、日本手外科学会)で、人数は1名から2名であった。

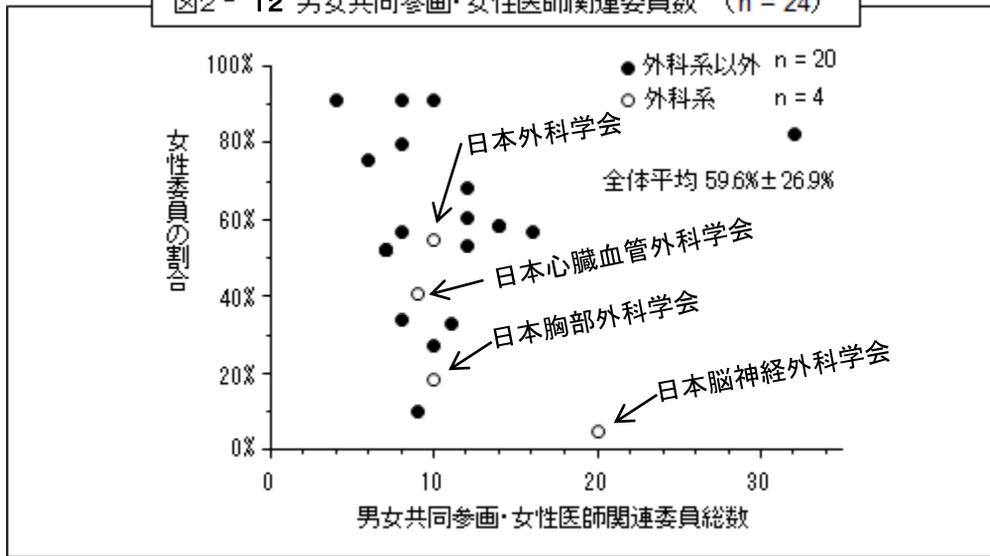
注)倫理委員会があると答えた学会は71であったが、そのうち1学会(日本集中治療医学会)は女性倫理委員数が未記入のため、集計対象外となりn=70が、倫理委員会がある学会数となった。



回答した全体65学会に教育委員会があり、4名から81名の委員がいた。女性委員は32学会に、1名から30名存在した(図2-11)(表4)。

外科系10学会には教育委員が計127名存在したが、女性委員は存在しなかった。

図2-12 男女共同参画・女性医師関連委員数 (n = 24)

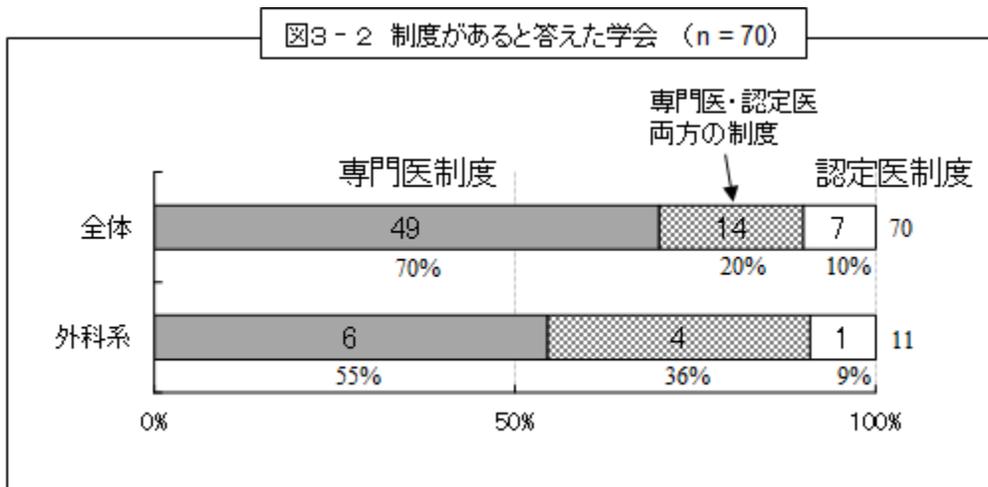
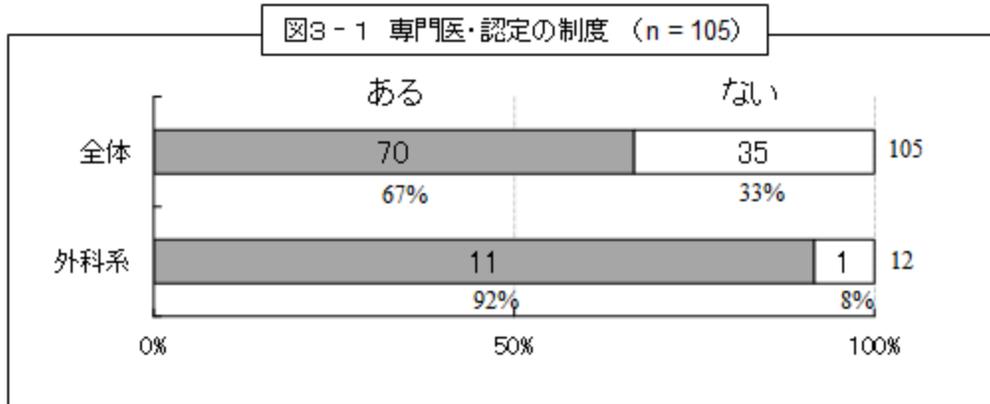


男女共同参画・女性医師関連委員数(小委員会を含む)を24学会が回答し、委員会の委員数では4名から32名、女性医師の委員数では1名から29名、女性の割合は5%から全員が女性(100%)であった(図2-12)(表4)。

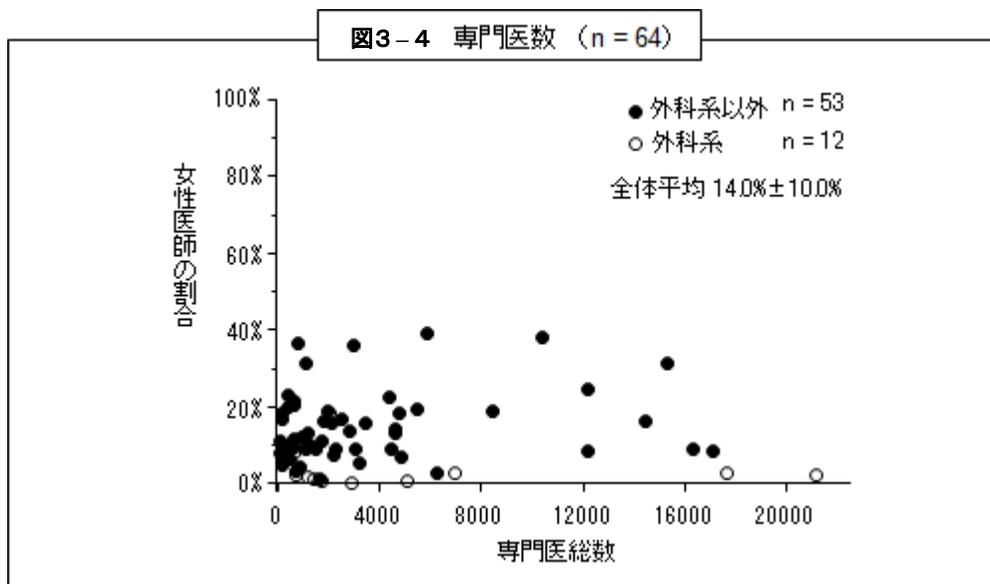
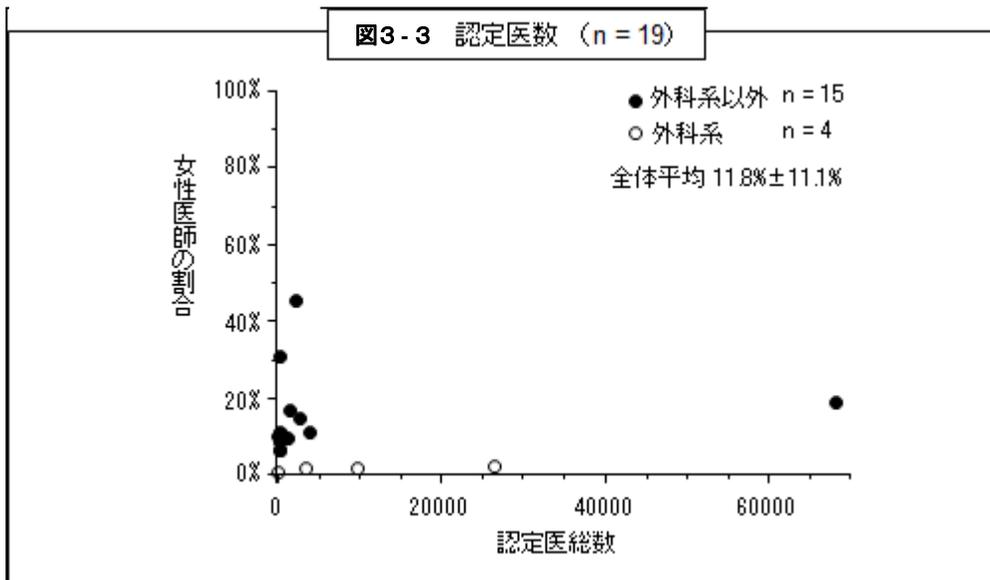
外科系学会での男女共同参画・女性医師関連委員会の女性委員の数は多い順に、日本外科学会(6名)、日本心臓血管外科学会4名、日本胸部外科学会(2名)、脳神経外科学会(1名)であった。

なお、男女共同参画・女性医師関連の外部団体については[6](20頁)に記載する。

3. 認定医・専門医の制度について



専門医・認定制度は全体では回答した105学会のうち70学会に存在し、外科系学会では12学会のうち11学会に存在した(図3-1)。専門医・認定医の両方の制度があるのは14学会(20%)、認定医のみ7学会(10%)、専門医のみ49学会(70%)であった(図3-2)。



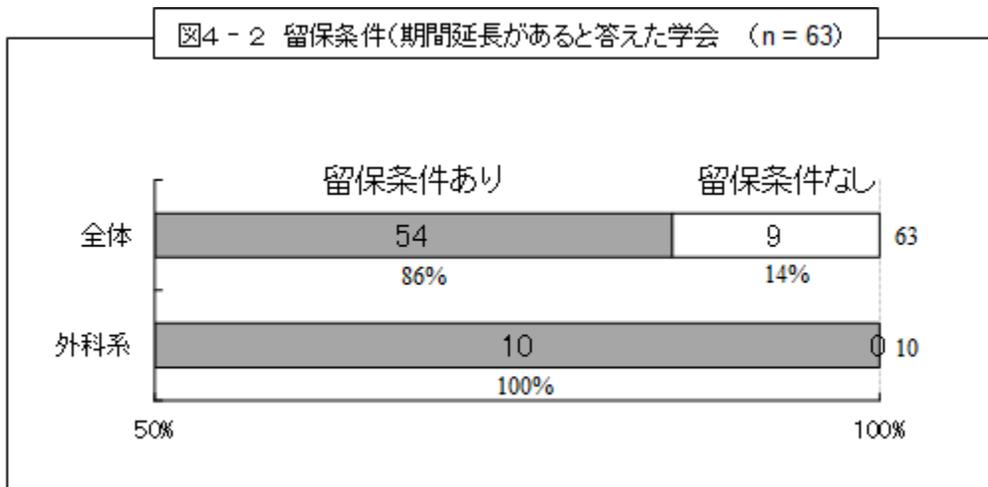
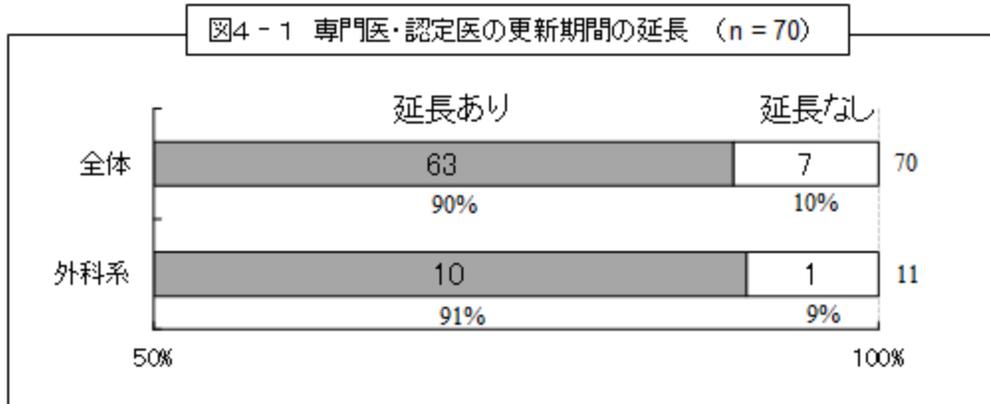
認定医で女性の取得率が全体の取得率と同率、あるいは上回っていたのは日本乳癌学会、日本麻酔科学会、日本レーザー医学会、日本職業・災害医学会の4学会であった(表2)。

専門医で女性の取得率が全体の取得率と同率、あるいは上回っていたのは日本乳癌学会、日本麻酔科学会、日本リハビリテーション医学会、日本心身医学会、日本産業衛生学会、日本臨床腫瘍学会の6学会であった。(表2)

外科系学会では女性の取得率は全ての学会において下回っていた。(表2)

注) 図2-6でn=64なのに、外科系以外と外科系をたして65になる理由は外科系以外の1学会が女性の専門医数を記入していなかったことによる

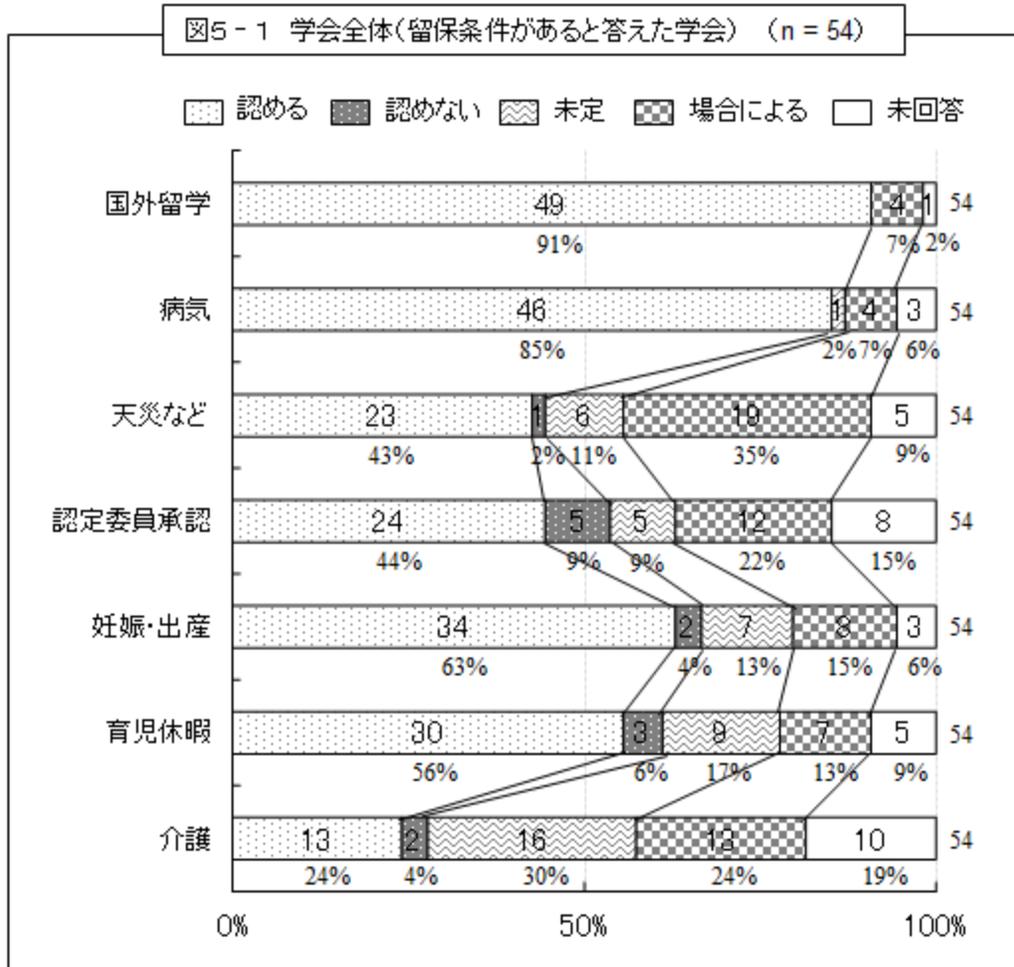
4. 認定医・専門医の更新期間の延長について



専門医認定制度関連では認定制度が70学会にあり(図4-1)、回答した中で、留保条件があると答えたのは54学会あり、留保条件がないと答えたのは9学会であった(図4-2)。

外科系学会では10学会は留保条件があると答えた。

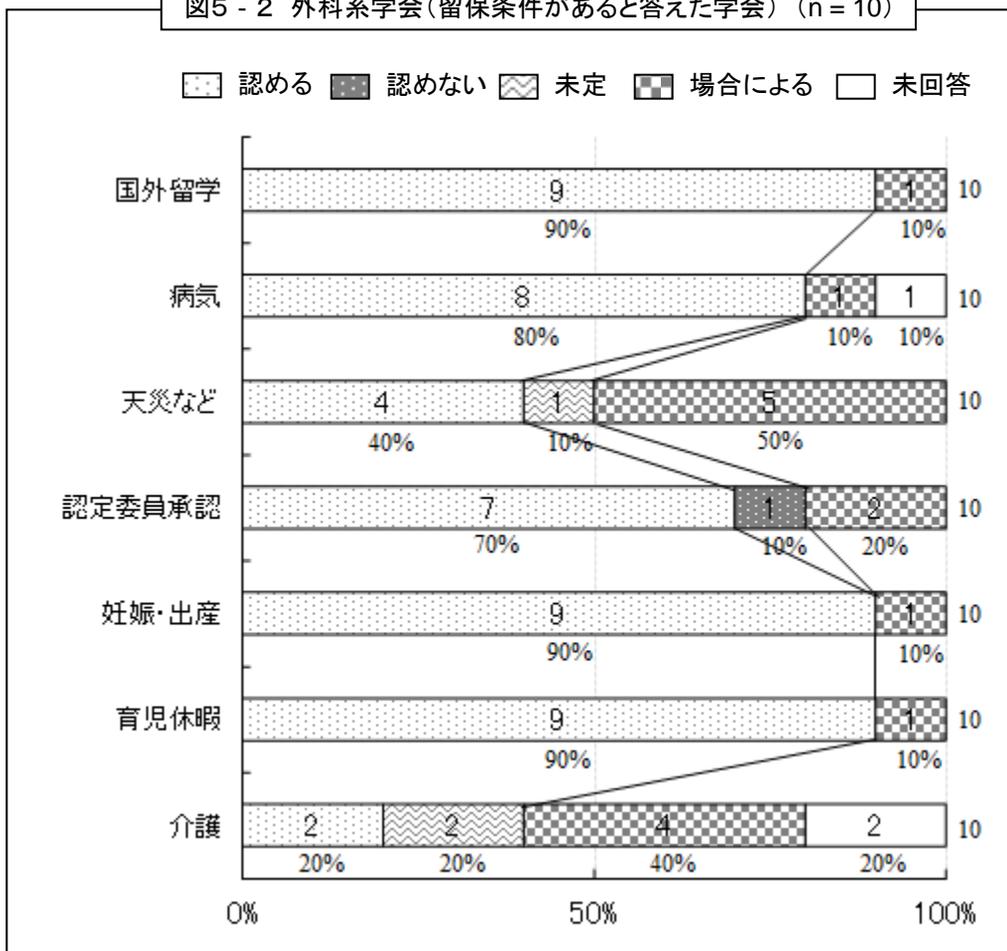
5. 認定医・専門医の更新期間の留保条件について



留保条件があると答えた54学会のうち、その理由で最も多く認められたのは国外留学、次いで病気であった。妊娠・出産は34学会、育児休暇は30学会、介護は13学会であった(図5-1)。

2008年の調査(n=51)に比べ、2011年の調査(n=54)では、留保条件に関して、国外留学が43学会から49学会に増え、妊娠・出産は26学会から34学会、育児休暇が19学会から30学会、介護が8学会から13学会に増えた。

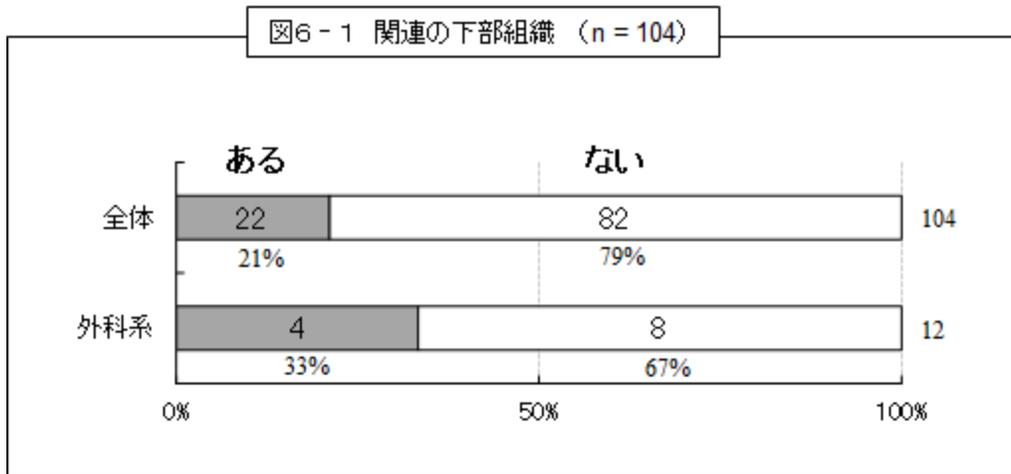
図5 - 2 外科系学会(留保条件があると答えた学会) (n = 10)



外科系学会で留保条件があると答えた10学会のうち、その理由で最も多く認められたのは国外留学(9学会)であり、妊娠・出産(9学会)、育児休暇(9学会)、介護(2学会)であった(図5-2)。妊娠・出産および育児休暇が留保条件として未定であると答えた1学会は日本手外科学会であった。介護を認めていたのは2学会(日本整形外科学会、日本内視鏡外科学会)であった。

2008年の調査での回答数(n=8)に比べ、2011年の調査での回答数(n=10)では、留保条件に関して、国外留学は6学会から9学会に、妊娠・出産は3学会から9学会、育児休暇が3学会から9学会、介護が0学会から2学会に増えた。

6. 男女共同参画・女性医師支援に関連する下部組織について



今回、初めて男女共同参画・女性医師関連の下部組織の調査を施行したところ、全体では回答した104学会のうち20学会に下部組織があり、加えて小委委員会が4学会にあった(図6-1)。

外科系学会では、12学会のうち、下部組織は4学会(日本外科学会、日本胸部外科学会、日本形成外科学会、日本心臓血管外科学会)に、また小委員会は1学会(日本脳神経外科学会)にあった。

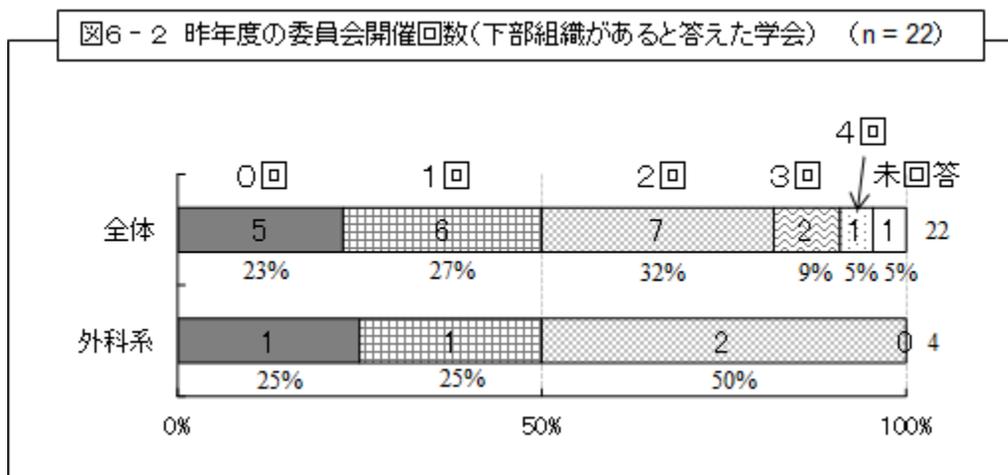
また、学会のホームページからその存在を確認した(21頁)。

■あると回答した学会の下部組織名

学会名	下部組織名	URL
☆ 日本アレルギー学会	女性医師支援委員会	http://www.jsaweb.jp/ (会員IDとパスワード必要)
☆ 日本解剖学会	男女共同参画推進委員会	http://www.anatomy.or.jp/
☆ 日本肝臓学会	男女共同参画委員会	http://www.jsh.or.jp/jsh/committee-list.html
☆ 日本胸部外科学会	処遇改善委員会	http://www.jpats.org/
☆ 日本形成外科学会	女性医師支援ワーキンググループ	http://www.jsprs.or.jp/
☆ 日本外科学会	女性外科医支援委員会	http://www.jsoc.or.jp/aboutus/list/iinkai.html
☆ 日本呼吸器学会	呼吸器診療に携わる女性医師増加策の検討ワーキンググループ	http://www.jrs.or.jp/
☆ 日本産科婦人科学会	学会内に男女共同参画・女性の健康週間委員会設置	http://www.jsog.or.jp/activity/report.html
☆ 日本循環器学会	男女共同参画委員会	http://www.j-circ.or.jp/information/iinkai.htm
☆ 日本消化器病学会	女性消化器医師支援委員会	http://www.jsge.or.jp/what/committee.html
☆ 日本小児科学会	女性医師の職域での環境改善プロジェクト	http://www.jpeds.or.jp/soshiki-j.html
☆ 日本心臓血管外科学会	女性医師支援委員会	http://jscvs.umin.ac.jp/jpn/index.html
☆ 日本生理学会	男女共同参画推進委員会	http://physiology.jp/exec/page/society/
☆ 日本透析医学会	男女共同参画小委員会	http://www.jsdt.or.jp/jsdt/625.html
☆ 日本内科学会	女性委員会	http://www.naika.or.jp/index.html
☆ 日本内分泌学会	女性医師専門医育成・再教育委員会	http://square.umin.ac.jp/endocrine/index.html
☆ 日本皮膚科学会	皮膚科の女性医師を考える会 今後開催する予定	http://www.dermatol.or.jp/about/jyosei-ishi.html
☆ 日本病理学会	男女共同参画委員会	http://jsp.umin.ac.jp/
☆ 日本薬理学会	研究推進委員会が女性会員アンケートを行うのに専念する委員会	http://www.pharmacol.or.jp/
☆ 日本リハビリテーション医学会	リハビリテーション科女性専門医ネットワーク委員会(RJN委員会)	http://www.jarm.or.jp/rjn/

■小委員会扱いの下部組織名

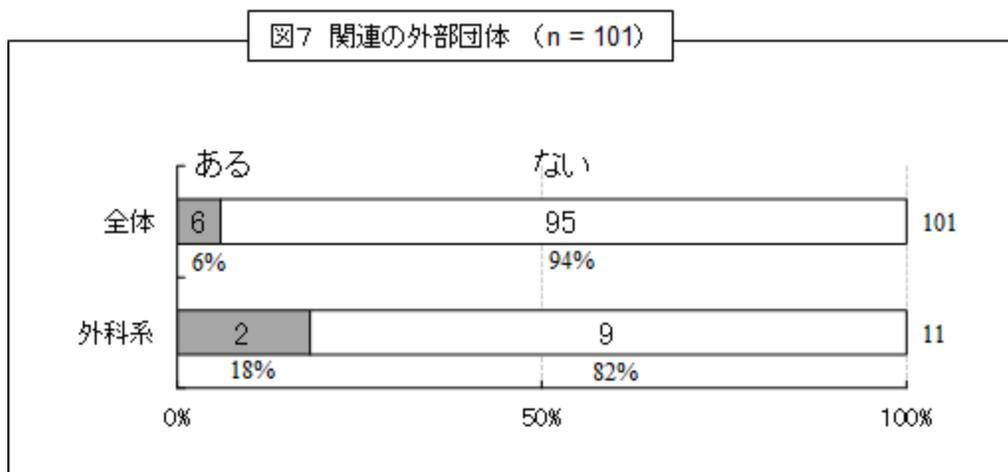
学会名	下部組織名	URL
☆ 日本腎臓学会	男女共同参画委員会	http://www.jsn.or.jp/committee/
☆ 日本乳癌学会	労働問題小委員会	http://www.jbcs.gr.jp/TJBBS/iinkai_20110119.pdf
☆ 日本脳神経外科学会	日本脳神経外科女医会	http://www.otas-co.com/wna/
☆ 日本泌尿器科学会	女性泌尿器科医の会	http://www.urol.or.jp/shimin/woman/about.html



全体での委員会開催回数は0回から4回で(図6-2)、最も開催回数が多かったのは日本循環器学会であった。

外科系学会での開催は2回(日本外科学会、日本脳神経外科学会)、1回(日本胸部外科学会)、0回(日本形成外科学会)であった。

7. 男女共同参画・女性医師支援に関連する外部団体について



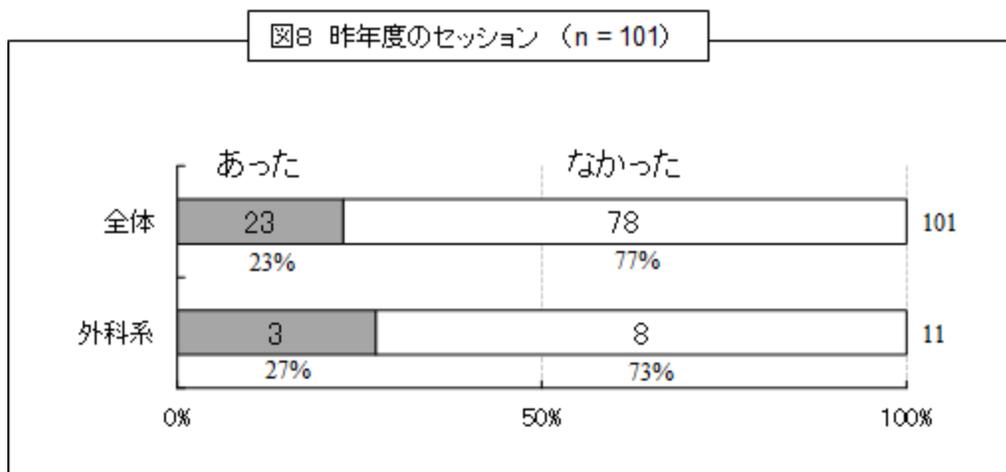
■あると回答した学会の外部支援団体名

学会名	支援外部団体名
☆ 日本アレルギー学会	
☆ 日本眼科学会	男女共同参画推進委員会
☆ 日本胸部外科学会	日本胸部外科女性医師の会
☆ 日本外科学会	日本女性外科医会
☆ 日本消化器病学会	日本消化器病学女性医師・研究者の会
☆ 日本腎臓学会	日本女性腎臓医の会

今回、初めて、男女共同参画・女性医師関連の外部団体の調査を施行したところ、全体では回答した101学会のうち6学会に外部団体が存在した(図7)。

外科系学会では、回答した11学会のうち、2学会(日本外科学会、日本胸部外科学会)に外部団体が存在した。

8. 昨年度の男女共同参画・女性医師支援関連のセッションについて



■昨年度開催されたセッション名

- ☆ 日本医師会と共催 講演・討論会: 女性医師支援プログラムの未来像を求めて—最先端の取り組みを考える(日本アレルギー学会)
- ☆ 合同研究倫理+男女共同シンポジウム 生き生きとした公正な研究活動のために—ハラスメントの防止を目指して— ☆東日本大震災の影響により学術大会は中止とし、誌面開催となった(日本解剖学会)
- ☆ レディースサージャンを増やそう(日本眼科学会)
- ☆ 日本肝臓学会男女共同企画参画委員会に何を求めるのか(日本肝臓学会)
- ☆ 1・女性医師支援活動と気管食道科2・女性医師の現状と今後※日本医師会との共催で開催した。(日本気管食道科学会)
- ☆ 日本胸部外科女性医会は学術集会の際にレクチャー開催(日本胸部外科学会)
- ☆ 特別企画「女性外科医の勤務継続とキャリアアップのために何が必要か？」(日本外科学会)
- ☆ 特別企画「女性が呼吸器病学を志し、継続するには」平成22年度学術講演会(日本呼吸器学会)
- ☆ 女性集中治療医の将来(日本集中治療医学会)
- ☆ 日本消化器学女性医師・研究者の会「消化器病学を支えるnext generationのために 日本消化器関連学会機構(JDDW2010 横浜) 10/15第3日目(日本消化器病学会)
- ☆ 消化器病学を支えるnext generationのために(日本消化器内視鏡学会)
- ☆ 大島賞受賞者にキャリアプランとワークライフバランスを聞く(日本腎臓学会)
- ☆ ハラスメント防止に関するワークショップ(日本生理学会)
- ☆ 2009年:学会委員会企画「透析医療における男女共同参画～現状と今後の課題～」2011年:学会委員会企画「JSDT専門医制度の問題点と改定案」—非常勤の女性医師の立場から—(日本透析医学会)

■昨年度開催されたセッション名(つづき)

- ☆ 男女共同参画に関する総合内科専門医へのアンケート結果報告(ポスター展示)(日本内科学会)
- ☆ 輝いて生涯活躍するために:女性医師専門医育成・再教育委員会企画 内分泌学会の取り組み(日本内分泌学会)
- ☆ 医師不足対策と勤務医の職場環境整備(日本脳神経外科学会)
- ☆ 女子医学生、研修医サポート企画「女医が語る泌尿器科の魅力」(日本泌尿器科学会)
- ☆ 「皮膚科の女性医師を考える会・討論会」を実施総会及び4支部学術大会で(日本皮膚科学会)
- ☆ ワークライフバランスー私たちの仕事と生活の調和を考えるー(日本プライマリ・ケア連合学会)
- ☆ ①関東甲信越・東京支部第50回合同学術集会の研修医・女性医師・女子医学生のための特別企画「麻酔科はこんなに楽しい」
- ②第58回学術集会 臨床研修医(初期)医学生招待企画 ・痛い痛いのとんでけ ・女性研究者の立場から麻酔科医について考える ・攻めの麻酔と守りの麻酔 ・女性だからこそ楽しい仕事 ・手術室から飛び出そう!ー付加価値の高い麻酔科医の道ー(日本麻酔科学会)
- ☆ 第84回年会での男女共同参画推進セミナー「薬理学研究とワーク・ライフ支援施策」、ただし、震災により集会中止となった。(日本薬理学会)
- ☆ リハ科女性医師活躍の現状と課題(日本リハビリテーション医学会)
- ☆ 女性医師復帰支援プログラム女性医師と女性医師を部下に持つ上司のために(日本臨床腫瘍学会)

作成者コメント:外科系学会では3学会が男女共同参画・女性医師関連のセッションがあったと回答した(図8)。セッション名をプログラム上で確認したところ、「女性」あるいは「男女」の文字がついていたのは日本外科学会のみであった。

9. 女性医師支援のための具体案

- ◆ 総会での託児所の設置（日本呼吸器外科学会）
- ◆ 学会開催中は託児所を設ける（日本医学放射線学会）
- ◆ 日本女性外科医会のアンケート、臨床研究の支援（日本消化器外科学会）
- ◆ 学術大会時の託児所の設置、専門医資格更新時の取り扱い（日本皮膚科学会）
- ◆ 専門医の更新認定時における、妊娠、出産などによる更新時期の配慮（日本超音波医学会）
- ◆ 女性医師支援委員会を発足させ、現状調査・支援策の検討を行っているところ。
（日本心臓血管外科学会）
- ◆ 女性医師支援ワーキンググループを設立し、今後様々な問題について検討、対応する。
（日本形成外科学会）
- ◆ 今後、理事会において本事項を検討して実効的対策を見出した上で、実施していく予定
（日本レーザー医学会）
- ◆ 平成23年度（2011年）より、諮問委員会として女性消化器医師支援委員会を設置した。
（日本消化器病学会）
- ◆ 学術総会開催時に託児所を設置しておりますので、主に女性会員への支援となっております。
（日本疫学会）
- ◆ 離職されている女性医師等の復帰支援を目的に「女性医師再研修プログラム」を年1回を目標に開催している。（日本小児科学会）
- ◆ 学術集会における託児所の設置や女性泌尿器科医の中の参加希望者にメーリングリストで意見交換できる場を設けている。（日本泌尿器科学会）
- ◆ 学術大会や秋季生涯教育セミナーの開催時には、託児所（室）を設置・無料提供し、参加しやすい環境を作り支援している。（日本プライマリ・ケア連合学会）
- ◆ 医師会が示していることについては、各医療機関へ学会長名でお願いしている。具体的な支援策については現在検討中である。（日本脳神経外科学会）
- ◆ 専門医の更新規定の中に、産休や育児休暇で更新が不可能であった場合も更新期間の延長ができるよう、条項を追加しました。（日本糖尿病学会）
- ◆ 女性医師のキャリアアップ支援、復職後の再教育支援、専門医取得における教育期間の見直し（専門医制度委員会で検討中）など。（日本透析医学会）
- ◆ 日本眼科医会と連携し、臨床を続けている女性医師の経験談の会誌掲載や女性医師支援のシンポジウム開催等、引き続き検討している。（日本眼科学会）
- ◆ 1)男女共同参画委員会を組織している。
2)各支部にそれぞれ3名の相談員を配置している。
3)各支部内の女性医師のネットワークを構築している。（日本病理学会）
- ◆ 当会の評議員は申請および推薦制度を採用し、女性医師、女性評議員を必ず評議員に就任いただくよう努めており、委員会でも留意しながら選考を行っている。（日本人工臓器学会）

- ◆ 将来計画委員会の中に「呼吸器診療に携わる女性医師増加策の検討」のグループを設け、活動を始めたところである。各支部においてセミナー等を開催している。(日本呼吸器学会)
- ◆ 2012年4月の第55回日本手外科学会学術集会において、女子医学生、研修医をサポートする目的で、「女性手外科医一夢を語る」というタイトルのシンポジウムを開催予定(日本手外科学会)
- ◆ 日本体育学会大会に、日本体力医学会から男女参画のタイトルでシンポジウムを開催する予定です。10月です。女性医師に限ったことではありません。シンポジストは理事長です。(日本体力医学会)
- ◆ 2011年度より、男女共同参画推進委員会を立ち上げた。また、日本解剖学会奨励賞(年齢制限「受賞時39歳未満」)応募条件に出産・育児の期間について、年齢制限に延長を認めている。(日本解剖学会)
- ◆ 女性医師支援に関しては、学会として特別な活動は行っていない。各大学・附属病院が行う女性医師の生涯学習プログラムに関して、本学会会員が医学教育の側面から積極的に参加をしている。(日本医学教育学会)
- ◆ 女性医師復帰プログラム 出産・育児休暇等より復帰する際、当会が認定する認定病院の中から協力施設を募集し、当会が作成した教育ガイドラインをもとに麻酔診療の現地訓練を教育する支援。(日本麻酔科学会)
- ◆ 専門医資格更新の際に、海外留学・病気療養・妊娠出産・育児・介護等、特段の理由のある場合は条件を緩和する規約がある。また、学術集会などでは託児所を設け参加しやすい環境を提供している。(日本臨床細胞学会)
- ◆ 血管外科領域における女性医師の割合は、多くはなく、現在のところ対応はそれぞれの施設に依存しているのが実情です。学会としては将来構想委員会で論議され、具体的支援策を検討して行く予定です。(日本血管外科学会)
- ◆ ◎女性会員へのアンケート調査結果をホームページ上に公開している。
◎年会時に託児所を設けている。
◎女性会員のキャリアパスの成功モデルとして、女性会員により年会・部会等での講演を実施している。(日本薬理学会)
- ◆ 外科専門医制度と連携した小児外科専門医制度に向け、規約など整理中です。その中で、小児外科認定登録医を新設し、妊娠・出産などの際の留保などを明確に位置づけるべく、来年度の評議員会に規則改正を提出します。(日本小児外科学会)
- ◆ 生殖医療専門医について、本学会の生殖医療専門医は基幹学会(日本産科婦人科学会・日本泌尿器科学会)の Subspeciality という位置づけのため、特に本学会として特別な支援策は行っておりません。(日本生殖医学会)
- ◆ 1. 今は特にないが、今後、代議員、委員の構成に女性を増やす。
2. 専門医の更新期間保留条件として、今は特に規定されていないが、今後、妊娠・出産、育児休業について個々の例で対応する。担当委員会が規定策定の検討を開始する。(日本老年医学会)

- ◆ 委員会としては、処遇改善委員会・研究教育員会で活動しており、また、日本胸部外科女性医師の会があり、主として学術集会の際にレクチャーを開催している。(日本胸部外科女性医師の会URL http://wtsjapan.umin.jp/wts_04.html) (日本胸部外科学会)
- ◆ ◎ホームページでの周知、◎学術総会、東西大会でのシンポジウム・ワークショップ開催・託児所開設(1日1000円)・相談コーナーの設置など、◎研修医セミナーでのワークショップ・相談コーナー設置、◎「腎臓学絵の誘い」小冊子の配布、◎専門医取得条件の配慮など(日本腎臓学会)
- ◆ ◎日本女性外科医会への支援活動、定期学術集会における関連セッション
◎日本女性外科医会の依頼により、本会代議員(274名)に女性外科勤務医師の実態アンケート実施、日本女性外科医会と共同で本会会員(3,124名)に学童期における家庭と仕事の両立の問題点に関するアンケート実施(日本外科学会)
- ◆ 日本臨床薬理学会は女性会員の比率が35%と、女性の参加機会の高い学会であるが、今後さらにシンポジウム等での発表機会を拡充する。また、本年度の学術集会では日本医師会の後援による「平成23年度女子医学生、研修医等をサポートするための会」を開催し、女性医師を支援するための取り組みを開始する。(日本臨床薬理学会)
- ◆ 生理学会男女共同参画推進委員会では、キャリア形成や研究を続ける上での悩みに対し、会員のアドバイザーが助言する「アドバイザー制度」を設立しました。これは、相談者に対して助言を与え、成長を見守る「メンター」システムを参考とし、特に周辺に相談できる人がいない会員(男女問わず)の支援をしております。(日本生理学会)
- ◆ 2010年度4月1日より男女共同参画委員会が発足し、産休時における専門医更新時の猶予や本会だけでなく各支部における地方会の際の託児室の設置、女性役員の登用など地域性も考慮したサポートを行っていけるよう今後の活動について現在検討中です。9月11日に大阪で男女共同参画セミナーを開催する予定です。(日本循環器学会)
- ◆ 日本臨床腫瘍学会の医師会員の約12%が造血器領域を専門としており、専門医数が増加しない原因を検索するためのアンケート調査を実施し、シンポジウムを組んだことがある。その中で女性医師の結婚、出産、子育て、当直・勤務体制の問題が出ていた。また、当学会女性会員からも同様の問題が個別ではあるが挙げられているので、女性会員を中心に善後策を協議する委員会の設置を検討していきたい。(日本臨床腫瘍学会)
- ◆ 本年6月「女性医師支援委員会」(常置委員会)の設置を理事会で承認。女性医師のみならず、アレルギーを専門とする医師全体について、ワークバランスを考えた勤務ができるような支援を考える委員会とする。具体的にはこれからの検討となるが、継続した支援を行うことができるように、1)アレルギー専門施設における女性医師支援の実態調査、2)ホームページでの女性医師支援のサイト設置、女性医師が相談しやすい環境の整備など様々な方策を検討する方針である。(日本アレルギー学会)

- ◆ 本学会は医師だけではなく多職種で構成されており、保健師、栄養士等の分野では特に女性であることを支援しなくても十分に活躍できている。本学会は、医師だけではなく多職種の方が入会しております。入会の際には、特に職種、性別の記載を必須にしておりませんので、女性会員、医師の会員はおおよそその数字しか出すことができません。また、認定制度はありますが、「本学会認定公衆衛生専門家」としての制度ですので医師に限定したものではありません。6. 7は認定医・専門医を認定専門家に変えて回答させていただきました。(日本公衆衛生学会)
- ◆ 女性医師がかかえる諸問題を解決し、誇りと自信を持って内分泌代謝専門医として生涯活躍出来る方策を立案するために、日本内分泌学会の新しいプロジェクトとして2009年に女性医師専門医育成・再教育委員会が発足した。
 1. 女性会員の現況調査, 女性医師の活動実態調査, 女性医師支援に関するアンケート調査を行った(現在解析中)。
 2. 内分泌学会総会, 支部学術集會に「女性の内分泌学会会員が企画するセミナー」を必ず設ける(総会については2011年度からシンポジウムを開始。支部学術集會については2010年度関東甲信越支部会から開始し, 2011年度は各支部で実施予定)。学会本部より支部会に予算を計上。
 3. 女性医師研修受け入れに関する調査: 女性医師がご主人の転勤などで別の地域に異動した時にその地域で内分泌の臨床を続けられるために, その地域で受け入れ可能な内分泌学会教育認定施設を学会としてリストアップし提示することを目的として, 認定研修施設に受け入れに関して調査を行った(活用方法検討中)。
 4. 育児休会: 育児期間中は育児休会を認める。
 5. 学会時の託児所の設置: 内分泌学会総会, Update, サマーセミナー, 支部会には託児所の設置を義務づける。
 6. その他 研修プログラム(e-learningなど)を検討中(日本内分泌学会)

10. まとめ

女性医師が継続的に就労するためには男性医師にも配慮した学会、所属施設、行政、他による就労環境整備が不可欠である。前回の調査から3年経過したが日本医学会分科会における評議員および役員への女性医師の登用は未だに限られていた。改善するには、男女共同参画の目標値を定めて活動することが肝要と考える。

日本医学会分科会全体の回答では、女性の評議員は99学会、女性の役員は45学会に存在した。しかし、女性評議員の存在しない3学会がいずれも外科系学会であり、また、外科系学会では女性役員が皆無であった。学会役員に女性が少ないため、ルールを変えることが困難な状況にある。意思決定に女性の視点も必要と思われる委員会には必ず女性委員を1名以上含むなどの、多様性を尊重した学会運営を期待したい。

専門医および認定医の更新期間の留保条件には、妊娠・出産・育児および介護などの“ライフイベント”を含めることを提案したい。

男女共同参画・女性医師支援を目的に、下部組織は学会による積極的な介入および行政への働きかけが可能であり、外部団体は小回りがきき効果的に活動できるといった特徴を生かせるため、両者を活用したい。

なお、本調査の結果の一部は第112回日本外科学会定期学術集会(2012年4月、幕張)における特別企画(2)『女性外科医の労働環境の改善に向けて』のセッションにおいて、「医学会分科会110学会における女性医師支援の現況:2011-3年後の調査から-」において報告した。

11. 回答協力学会名(五十音順)

学会名	学会名	学会名
1 日本アレルギー学会	36 日本交通医学会	71 日本糖尿病学会
2 日本医学教育学会	37 日本呼吸器学会	72 日本動脈硬化学会
3 日本医学放射線学会	38 日本呼吸器外科学会	73 日本東洋医学会
4 日本医史学会	39 日本呼吸器内視鏡学会	74 日本内科学会
5 日本移植学会	40 日本産業衛生学会	75 日本内視鏡外科学会
6 日本医真菌学会	41 日本産科婦人科学会	76 日本内分泌学会
7 日本医療機器学会	42 日本耳鼻咽喉科学会	77 日本乳癌学会
8 日本医療・病院管理学会	43 日本周産期・新生児医学会	78 日本熱帯医学会
9 日本ウイルス学会	44 日本集中治療医学会	79 日本脳神経外科学会
10 日本衛生学会	45 日本循環器学会	80 日本脳卒中学会
11 日本衛生動物学会	46 日本消化器病学会	81 日本農村医学会
12 日本栄養・食糧学会	47 日本消化器外科学会	82 日本ハンセン病学会
13 日本疫学会	48 日本消化器内視鏡学会	83 日本泌尿器科学会
14 日本温泉気候物理医学会	49 日本小児科学会	84 日本皮膚科学会
15 日本解剖学会	50 日本小児外科学会	85 日本肥満学会
16 日本化学療法学会	51 日本小児神経学会	86 日本病理学会
17 日本核医学会	52 日本職業・災害医学会	87 日本プライマリ・ケア連合学会
18 日本癌学会	53 日本自律神経学会	88 日本平滑筋学会
19 日本眼科学会	54 日本神経学会	89 日本法医学会
20 日本感染症学会	55 日本神経病理学会	90 日本保険医学会
21 日本肝臓学会	56 日本人工臓器学会	91 日本麻酔科学会
22 日本癌治療学会	57 日本心身医学会	92 日本脈管学会
23 日本気管食道科学会	58 日本腎臓学会	93 日本民族衛生学会
24 日本寄生虫学会	59 日本心臓血管外科学会	94 日本免疫学会
25 日本救急医学会	60 日本人類遺伝学会	95 日本薬理学会
26 日本胸部外科学会	61 日本整形外科学会	96 日本輸血・細胞治療学会
27 日本形成外科学会	62 日本生殖医学会	97 日本リウマチ学会
28 日本外科学会	63 日本生体医工学会	98 日本リハビリテーション医学会
29 日本血液学会	64 日本生理学会	99 日本臨床検査医学会
30 日本結核病学会	65 日本先天異常学会	100 日本臨床細胞学会
31 日本血管外科学会	66 日本大腸肛門病学会	101 日本臨床腫瘍学会
32 日本血栓止血学会	67 日本体力医学会	102 日本臨床薬理学会
33 日本高血圧学会	68 日本超音波医学会	103 日本リンパ網内系学会
34 日本口腔科学会	69 日本手外科学会	104 日本レーザー医学会
35 日本公衆衛生学会	70 日本透析医学会	105 日本老年医学会

表1 女性医師数・割合

	会 員			医 師			新入会医師		
	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本アレルギー学会	9,800	2,250	23%	9,600	2,170	23%	474	154	32%
日本医学教育学会	2,682	459	17%	*			*		
日本医学放射線学会	8,427	1,818	22%	7,940	1,780	22%	307	126	41%
日本医史学会	834	135	16%	*			*		
日本移植学会	2,787	241	9%	2,652	150	6%	97	34	35%
日本医真菌学会	1,126	322	29%	715	230	32%	47	17	36%
日本医療機器学会	3,552			130	**		5	**	
日本医療・病院管理学会	2,100	620	30%	735	200	27%			
日本ウイルス学会	2,900	600	21%	2,100	500	24%	140	45	32%
日本衛生学会	2,031	571	28%	*			*		
日本衛生動物学会	366	48	13%	5	2	40%	0		
日本栄養・食糧学会	4,130	2,020	49%	126	11	9%	17	1	6%
日本疫学会	1,522	539	35%	*			*		
日本温泉気候物理医学会	1,870	219	12%	1,621	158	10%	98	18	18%
日本解剖学会	2,349	430	18%	2,152	323	15%	97	26	27%
日本化学療法学会	6,155	1,213	20%	4,821	947	20%	392	61	16%
日本核医学会	3,465	685	20%	2,627	487	19%	165	38	23%
日本癌学会	15,852	2,211	14%	*			*		
日本眼科学会	14,214	5,763	41%	14,006	5,629	40%	253	104	41%
日本感染症学会	10,590	1,983	19%	8,683	1,476	17%	908	219	24%
日本肝臓学会	11,212	1,262	11%	10,989	1,205	11%	464	68	15%
日本癌治療学会	17,335	1,719	10%	14,311	1,371	10%	618	114	18%
日本気管食道科学会	3,214	369	11%	3,214	369	11%	169	19	11%
日本寄生虫学会	779	148	19%	162	21	13%	50	13	26%
日本救急医学会	10,353	1,023	10%	10,051	915	9%	731	135	18%
日本胸部外科学会	7,802	342	4%	7,802	342	4%	410	68	17%
日本形成外科学会	4,394	1,095	25%	4,327	1,084	25%	128	47	37%
日本外科学会	38,860	2,314	6%	38,860	2,314	6%	1,031	230	22%
日本血液学会	7,000	1,500	21%	*			309	115	37%
日本結核病学会	3,251	643	20%	2,679	401	15%			
日本血管外科学会	3,122	146	5%	3,122	146	5%	248	31	13%
日本血栓止血学会	1,034	151	15%	696	70	10%		5	
日本高血圧学会	3,900	450	12%	3,800	**		600	**	
日本口腔科学会	** (3,787)	** (557)	15%	** (3,763)	** (550)	15%	0		
日本公衆衛生学会	8,172	3,500	43%	4,000	**			**	
日本交通医学会	682	136	20%	290	50	17%	48	14	29%
日本呼吸器学会	11,129	1,957	18%	*			445		
日本呼吸器外科学会	3,228								
日本呼吸器内視鏡学会	5,865	750	13%	5,858	750	13%	395	90	23%
日本産業衛生学会	7,477	3,540	47%	3,813	832	22%	197	59	30%
日本産科婦人科学会	15,787	4,587	29%	*			491	299	61%
日本耳鼻咽喉科学会	10,616	2,268	21%	10,548	2,241	21%	200	62	31%
日本周産期・新生児医学会	7,180	2,318	32%	7,036	2,225	32%	709	328	46%
日本集中治療医学会	8,153	2,779	34%	5,803	1,043	18%	647	133	21%
日本循環器学会	24,804	2,976	12%	23,315	2,732	12%	1,038	217	21%

表1 女性医師数・割合

	会 員			医 師			新入会医師		
	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本消化器病学会	31,529	3,568	11%	31,282	3,548	11%	1,137	223	20%
日本消化器外科学会	20,655	*(984)	5%	20,655	*(984)	5%	814	*(128)	16%
日本消化器内視鏡学会	32,117	4,069	13%	31,972	4,069	13%	1,019	218	21%
日本小児科学会	20,484	7,055	34%	20,240	6,905	34%	720	294	41%
日本小児外科学会	2,294	273	12%	2,294	273	12%	102	18	18%
日本小児神経学会	3,574	1,421	40%	3,397	1,358	40%	173	74	43%
日本職業・災害医学会	2,112	792	38%	1,125	75	7%	78	10	13%
日本自律神経学会	1,100	160	15%	740	90	12%	40	10	25%
日本神経学会	8,925	1,750	20%	8,787	1,750	20%	258	83	32%
日本神経病理学会	1,250	196	16%	891	124	14%	31	9	29%
日本人工臓器学会	2,700	190	7%	1,300	90	7%	20	0	0%
日本心身医学会	3,594	1,275	35%	2,612	611	23%	62	22	35%
日本腎臓学会	9,177	2,006	22%	8,768	1,882	21%	427	136	32%
日本心臓血管外科学会	4,036	169	4%	4,023	166	4%	149	15	10%
日本人類遺伝学会	3,341	940	28%	1,298	293	23%	120	48	40%
日本整形外科学会	23,306	1,113	5%	23,289	1,113	5%	590	20	3%
日本生殖医学会	4,356	1,527	35%	3,288	790	24%	105	57	54%
日本生体医工学会	2,700	90	3%	900	40	4%	10	5	50%
日本生理学会	2,600	400	15%	*			*		
日本先天異常学会	848	160	19%	308	75	24%	53	11	21%
日本大腸肛門病学会	6,752	363	5%	6,752	363	5%	495	64	13%
日本体力医学会	5,026	1,107	22%	*			*		
日本超音波医学会	14,326	5,273	37%	7,427	1,384	19%	366	119	33%
日本手外科学会	3,457	287	8%	3,364	259	8%	139	28	20%
日本透析医学会	11,653	2,115	18%	10,815	1,870	17%	506	153	30%
日本糖尿病学会	16,981	5,135	30%	14,630	3,608	25%	624	212	34%
日本動脈硬化学会	2,107	160	8%	1,600	110	7%	80	15	19%
日本東洋医学会	8,652	1,386	16%	7,112	**		499	**	
日本内科学会	101,567	20,201	20%	101,567	20,201	20%	2,961		
日本内視鏡外科学会	11,167	592	5%	11,034	526	5%	725	74	10%
日本内分泌学会	7,199	1,843	26%	5,797	1,661	29%	347	146	42%
日本乳癌学会	9,263	*(637)	7%	8,239	*(464)	6%	424	*(0)	0%
日本熱帯医学会	600	110	18%	*			*		
日本脳神経外科学会	8,845	454	5%	8,845	454	5%	251	30	12%
日本脳卒中学会	6,000	**		6,000	**		400	**	
日本農村医学会	4,457	*(239)	5%	4,282	*(229)	5%	962	*(99)	10%
日本ハンセン病学会	300	50	17%	90	11	12%	10	2	20%
日本泌尿器科学会	7,849	878	11%		370		169	31	18%
日本皮膚科学会	11,074	4,921	44%	*			*		
日本肥満学会	2,787	**		1,405	**		114	**	
日本病理学会	4,026	848	21%	3,343	663	20%	161	56	35%
日本プライマリ・ケア連合学会	5,947	1,055	18%	5,491	724	13%	680	60	9%
日本平滑筋学会	447	35	8%	*			*		
日本法医学会	1,257	281	22%	518	76	15%	57	15	26%
日本保険医学会	746	113	15%	524	85	16%	4	3	75%

表1 女性医師数・割合

	会 員			医 師			新入会医師		
	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本麻酔科学会	11,478	3,888	34%	8,600	2,800	33%	524	255	49%
日本脈管学会	2,995	114	4%	*			270	37	14%
日本民族衛生学会	700	340	49%	4	2	50%	0		
日本免疫学会	4,700	1,000	21%	*			*		
日本薬理学会	5,330			880	**		57	17	30%
日本輸血・細胞治療学会	4,037	1,995	49%	1,146	145	13%	102	15	15%
日本リウマチ学会	9,432	1,138	12%	9,110	1,138	12%	433	91	21%
日本リハビリテーション医学会	9,754	1,244	13%	9,559	1,206	13%	414	90	22%
日本臨床検査医学会	2,963	713	24%	1,839	261	14%	144	38	26%
日本臨床細胞学会	11,394	4,942	43%	4,468	1,023	23%	174	78	45%
日本臨床腫瘍学会	8,230	1,570	19%	6,932	915	13%	506	102	20%
日本臨床薬理学会	3,124	1,085	35%	800	68	9%	49	9	18%
日本リンパ網内系学会	731	106	15%	698	106	15%	52	12	23%
日本レーザー医学会	1,420	338	24%	1,251	281	22%	61	19	31%
日本老年医学会	6,132	1,066	17%	6,000	850	14%	331	50	15%

* : 会員の医師・非医師の別の登録がないため不明

** : 会員の性別登録がないため不明

*(): 会員の性別登録がないが、判明分の数値

**(): 歯科医師も含んだ数値(日本口腔科学会)

表2 女性医師専門医・認定医

	会 員			医 師			専 門 医			認 定 医		
	全体	女性	女性割合 (%)	全体	女性	女性割合 (%)	全体	女性	女性取得率 (%)	全体	女性	女性取得率 (%)
<専門医・認定医>												
日本アレルギー学会	9,800	2,250	23%	9,600	2,170	23%	3,042	293	32%	10	1	0%
日本核医学会	3,465	685	20%	2,627	487	19%	1,148	160	44%	1,372	233	52%
日本胸部外科学会	7,802	342	4%	7,802	342	4%	2,884	26	37%	3,500	42	45%
日本外科学会	38,860	2,314	6%	38,860	2,314	6%	21,144	655	54%	26,507	436	68%
日本消化器外科学会	20,655	*(984)	5%	20,655	*(984)	5%	5,096	*(77)	25%	9,716	*(101)	47%
日本心身医学会	3,594	1,275	35%	2,612	611	23%	587	135	22%	128	14	5%
日本整形外科学会	23,306	1,113	5%	23,289	1,113	5%	17,681	625	76%			
日本東洋医学会	8,652	1,386	16%	7,112	**		2,236	220	31%	215	22	3%
日本内科学会	101,567	20,201	20%	101,567	20,201	20%	14,452	2,501	14%	68,293	12,905	67%
日本乳癌学会	9,263	*(637)	7%	8,239	*(464)	6%	969	*(126)	12%	2,634	*(384)	32%
日本プライマリ・ケア連合学会	5,947	1,055	18%	5,491	724	13%	173	34	3%	884	84	16%
日本麻酔科学会	11,478	3,888	34%	8,600	2,800	33%	2,966	1,115	34%	2,101	977	24%
日本リハビリテーション医学会	9,754	1,244	13%	9,559	1,206	13%	1,787	309	19%	3,901	421	41%
日本レザージャ―医学会	1,420	338	24%	1,251	281	22%	139	25	11%	223	70	18%
<専門医>												
日本医学放射線学会	8,427	1,818	22%	7,940	1,780	22%	5,468	1,135	69%			64%
日本医真菌学会	1,126	322	29%	715	230	32%	74	9	10%			4%
日本温泉気候物理医学会	1,870	219	12%	1,621	158	10%	220	16	14%			10%
日本眼科学会	14,214	5,763	41%	14,006	5,629	40%	10,359	4,126	74%			73%
日本感染症学会	10,590	1,983	19%	8,683	1,476	17%	1,073	107	12%			7%
日本肝臓学会	11,212	1,262	11%	10,989	1,205	11%	4,829	381	44%			32%
日本気管食道科学会	3,214	369	11%	3,214	369	11%	1,268	139	39%			38%
日本救急医学会	10,353	1,023	10%	10,051	915	9%	3,229	189	32%			21%
日本形成外科学会	4,394	1,095	25%	4,327	1,084	25%	2,017	393	47%			36%
日本血液学会	7,000	1,500	21%	*			2,836	418				
日本高血圧学会	3,900	450	12%	3,800			469	33				12%
日本呼吸器学会	11,129	1,957	18%	*			4,594	640				

表2 女性医師専門医・認定医

	会 員			医 師			専 門 医			認 定 医		
	全体	女性	女性割合 (%)	全体	女性	女性割合 (%)	全体	女性	女性取得率 (%)	全体	女性	女性取得率 (%)
〈専門医・認定医〉												
日本呼吸器外科学会	3,228						1,168	30				
日本呼吸器内視鏡学会	5,865	750	13%	5,858	750	13%	2,218	182	38%	24%		
日本産業衛生学会	7,477	3,540	47%	3,813	832	22%	426	90	11%	11%		
日本産科婦人科学会	15,787	4,587	29%	*			12,167	3,188				
日本耳鼻咽喉科学会	10,616	2,268	21%	10,548	2,241	21%	8,448	1,706	80%	76%		
日本周産期・新生児医学会	7,180	2,318	32%	7,036	2,225	32%	413	101	6%	5%		
日本集中治療医学会	8,153	2,779	34%	5,803	1,043	18%	879	44	15%	4%		
日本循環器学会	24,804	2,976	12%	23,315	2,732	12%	12,166	1,119	52%	41%		
日本消化器病学会	31,529	3,568	11%	31,282	3,548	11%	17,113	1,634	55%	46%		
日本消化器内視鏡学会	32,117	4,069	13%	31,972	4,069	13%	16,320	1,622	51%	40%		
日本小児科学会	20,484	7,055	34%	20,240	6,905	34%	15,331	5,021	76%	73%		
日本小児外科学会	2,294	273	12%	2,294	273	12%	590	52	26%	19%		
日本小児神経学会	3,574	1,421	40%	3,397	1,358	40%	1,083	359	32%	26%		
日本神経学会	8,925	1,750	20%	8,787	1,750	20%	4,745	916	54%	52%		
日本腎臓学会	9,177	2,006	22%	8,768	1,882	21%	3,452	588	39%	31%		
日本心臓血管外科学会	4,036	169	4%	4,023	166	4%	1,716	26	43%	16%		
日本人類遺伝学会	3,341	940	28%	1,298	293	23%	633	137	49%	47%		
日本生殖医学会	4,356	1,527	35%	3,288	790	24%	423	45	13%	6%		
日本先天異常学会	848	160	19%	308	75	24%	93	8	30%	11%		
日本大腸肛門病学会	6,752	363	5%	6,752	363	5%	1,671	33	25%	9%		
日本超音波医学会	14,326	5,273	37%	7,427	1,384	19%	1,735	212	23%	15%		
日本手外科学会	3,457	287	8%	3,364	259	8%	731	22	22%	8%		
日本透析医学会	11,653	2,115	18%	10,815	1,870	17%	4,629	697	43%	37%		
日本糖尿病学会	16,981	5,135	30%	14,630	3,608	25%	4,340	1,029	30%	29%		
日本内分泌学会	7,199	1,843	26%	5,797	1,661	29%	1,968	391	34%	24%		
日本脳神経外科学会	8,845	454	5%	8,845	454	5%	6,979	256	79%	56%		
日本脳卒中学会	6,000	**		6,000	**		3,000	**	50%			
日本泌尿器科学会	7,849	878	11%		370		6,251	230		62%		

表2 女性医師専門医・認定医

	会 員			医 師			専 門 医			認 定 医		
	全体	女性	女性割合	全体	女性	女性割合	全体	女性	女性取得率	全体	女性	女性取得率
			(%)			(%)			(%)			(%)
<専門医・認定医>												
日本皮膚科学会	11,074	4,921	44%	*	5,872	2,406	5,872	2,406	41%	5,872	2,406	41%
日本病理学会	4,026	848	21%	3,343	663	20%	2,085	351	17%	2,085	351	17%
日本脈管学会	2,995	114	4%	*	678	26	678	26	4%	678	26	4%
日本リウマチ学会	9,432	1,138	12%	9,110	1,138	12%	4,470	452	10%	4,470	452	10%
日本臨床検査医学会	2,963	713	24%	1,839	261	14%	633	65	10%	633	65	10%
日本臨床細胞学会	11,394	4,942	43%	4,468	1,023	23%	2,481	439	18%	2,481	439	18%
日本臨床腫瘍学会	8,230	1,570	19%	6,932	915	13%	586	74	13%	586	74	13%
日本臨床薬理学会	3,124	1,085	35%	800	68	9%	187	10	5%	187	10	5%
日本老年医学会	6,132	1,066	17%	6,000	850	14%	1,489	144	10%	1,489	144	10%
<認定医>												
日本化学療法学会	6,155	1,213	20%	4,821	947	20%	4,821	947	20%	1,100	100	9%
日本結核病学会	3,251	643	20%	2,679	401	15%	2,679	401	15%	96	0	0%
日本血管外科学会	3,122	146	5%	3,122	146	5%	3,122	146	5%	173	11	6%
日本職業・災害医学会	2,112	792	38%	1,125	75	7%	1,125	75	7%	178	11	6%
日本法医学会	1,257	281	22%	518	76	15%	518	76	15%	284	24	8%
日本保険医学会	746	113	15%	524	85	16%	524	85	16%	378	40	11%
日本輸血・細胞治療学会	4,037	1,995	49%	1,146	145	13%	1,146	145	13%	378	40	11%

* : 会員の医師・非医師の別の登録がないため不明

** : 会員の性別登録がないため不明

*() : 会員の性別登録がないが、判明分の数値

表3 女性評議員・役員・委員会委員

	女性 会員 (%)	女性 医師 (%)	評 議 員			役 員			全委員会		
			全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本アレルギー学会	23%	23%	327	29	9%	21	0	0%	258	14	5%
日本医学教育学会	17%		150	19	13%	26	3	12%	186	27	15%
日本医学放射線学会	22%	22%	250	11	4%	16	0	0%	289	11	4%
日本医史学会	16%								8	0	0%
日本移植学会	9%	6%	182	6	3%	22	0	0%	207	13	6%
日本医真菌学会	29%	32%	100	29	29%	14	1	7%	76	13	17%
日本医療機器学会		0%	118	6	5%	27	2	7%	100	5	5%
日本医療・病院管理学会	30%	27%	98	18	18%	15	1	7%	61	9	15%
日本ウイルス学会	21%	24%	200	11	6%	30	3	10%	80	10	13%
日本衛生学会	28%		412	48	12%	17	1	6%	45	6	13%
日本衛生動物学会	13%	40%	22	2	9%	4	0	0%	43	4	9%
日本栄養・食糧学会	49%	9%	148	26	18%	19	1	5%	147	17	12%
日本疫学会	35%		209	18	9%	22	1	5%	72	11	15%
日本温泉気候物理医学会	12%	10%	102	5	5%	16	1	6%	37	2	5%
日本解剖学会	18%	15%	391	32	8%	17	1	6%	134	10	7%
日本化学療法学会	20%	20%	439	25	6%	21	2	10%	313	17	5%
日本核医学会	20%	19%	175	11	6%	20	0	0%	164	10	6%
日本癌学会	14%		451	29	6%	18	0	0%	35	2	6%
日本眼科学会	41%	40%	110	8	7%	18	0	0%	213	15	7%
日本感染症学会	19%	17%	614	40	7%	18	0	0%	97	2	2%
日本肝臓学会	11%	11%	200	9	5%	18	0	0%	229	19	8%
日本癌治療学会	10%	10%	266	1	0.4%	20	0	0%	566	15	3%
日本気管食道科学会	11%	11%	197	3	2%	49	0	0%	55	1	2%
日本寄生虫学会	19%	13%	229	10	4%	19	2	11%	57	0	0%
日本救急医学会	10%	9%	262	3	1%	15	0	0%	406	1	0%
日本胸部外科学会	4%	4%	300	1	0.3%	25	0	0%	150	2	1%
日本形成外科学会	25%	25%	150	4	3%	17	0	0%	267	8	3%
日本外科学会	6%	6%	273	1	0.4%	17	0	0%	511	8	2%
日本血液学会	21%		744	41	6%	27	1	4%	220	8	4%
日本結核病学会	20%	15%	191	6	3%	31	2	6%	120	8	7%
日本血管外科学会	5%	5%	163	0	0%	17	0	0%	35	0	0%
日本血栓止血学会	15%	10%	215	13	6%	0			65	3	5%
日本高血圧学会	12%	0%	322	6	2%	20	0	0%	0		
日本口腔科学会	15%	15%	209	5	2%	27	0	0%	88	1	1%
日本公衆衛生学会	43%	0%	305	89	29%	33	6	18%	89	24	27%
日本交通医学会	20%	17%	154	21	14%	14	0	0%	183	22	12%
日本呼吸器学会	18%		400	5	1%	20	0	0%	230	5	2%
日本呼吸器外科学会			548	1	0.2%	17	0	0%	252	0	0%
日本呼吸器内視鏡学会	13%	13%	300	4	1%	22	1	5%	211	2	1%
日本産業衛生学会	47%	22%	644	240	37%	32	4	13%	139	25	18%
日本産科婦人科学会	29%		370	17	5%	26	0	0%	*(97)	*(7)	7%
日本耳鼻咽喉科学会	21%	21%	292	9	3%	22	0	0%	108	10	9%
日本周産期・新生児医学会	32%	32%	309	18	6%	15	0	0%	146	5	3%
日本集中治療医学会	34%	18%	214	8	4%	17	2	12%	95	3	3%
日本循環器学会	12%	12%	250	3	1%	20	0	0%	*(94)	*(4)	4%

表3 女性評議員・役員・委員会委員

	女性 会員 (%)	女性 医師 (%)	評 議 員			役 員			全 委 員 会		
			全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本消化器病学会	11%	11%	1,038	20	2%	23	0	0%	300	15	5%
日本消化器外科学会	5%	5%	349	0	0%	18	0	0%	115	3	3%
日本消化器内視鏡学会	13%	13%	246	8	3%	17	0	0%	314	6	2%
日本小児科学会	34%	34%	591	50	8%	22	0	0%	364	41	11%
日本小児外科学会	12%	12%	294	17	6%	11	0	0%	160	3	2%
日本小児神経学会	40%	40%	235	24	10%	19	4	21%	243	36	15%
日本職業・災害医学会	38%	7%	255	7	3%	24	0	0%	44	1	2%
日本自律神経学会	15%	12%	280	20	7%				75	9	12%
日本神経学会	20%	20%	548	31	6%	20	0	0%	146	7	5%
日本神経病理学会	16%	14%	216	20	9%	22	1	5%	185	3	2%
日本人工臓器学会	7%	7%	170	4	2%	13	1	8%	0		
日本心身医学会	35%	23%	665	166	25%	22	2	9%	89	12	13%
日本腎臓学会	22%	21%	194	9	5%	20	1	5%	472	40	8%
日本心臓血管外科学会	4%	4%	155	2	1%	21	0	0%	159	5	3%
日本人類遺伝学会	28%	23%	153	17	11%	12	1	8%	207	41	20%
日本整形外科学会	5%	5%	251	0	0%	23	0	0%	392	1	0%
日本生殖医学会	35%	24%	105	2	2%	20	1	5%	69	0	0%
日本生体医工学会	3%	4%	168	9	5%	21	0	0%	333	7	2%
日本生理学会	15%		980	120	12%	20	4	20%	202	38	19%
日本先天異常学会	19%	24%	75	10	13%	12	3	25%	154	22	14%
日本大腸肛門病学会	5%	5%	312	1	0.3%				165	1	1%
日本体力医学会	22%		508	43	8%	26	1	4%	82	3	4%
日本超音波医学会	37%	19%	178	20	11%	22	1	5%	245	22	9%
日本手外科学会	8%	8%	193	1	1%	14	0	0%	164	3	2%
日本透析医学会	18%	17%	192	8	4%	22	1	5%	216	14	6%
日本糖尿病学会	30%	25%	677			20	1	5%	348	25	7%
日本動脈硬化学会	8%	7%	306	9	3%	27	1	4%	120	4	3%
日本東洋医学会	16%	0%	194	12	6%	20	1	5%	187	16	9%
日本内科学会	20%	20%	439	3	1%	24	0	0%	182	5	3%
日本内視鏡外科学会	5%	5%	594	3	1%	24	0	0%	212	2	1%
日本内分泌学会	26%	29%	1,144	89	8%	25	1	4%	312	38	12%
日本乳癌学会	7%	6%	410	52	13%	21	1	5%	320	68	21%
日本熱帯医学会	18%		122	6	5%	62	3	5%	*(18)	*(2)	11%
日本脳神経外科学会	5%	5%	279	2	1%	20	0	0%	391	2	1%
日本脳卒中学会	0%	0%	550			35	0	0%	211	0	0%
日本農村医学会	5%	5%	134	2	1%	28	0	0%	44	0	0%
日本ハンセン病学会	17%	12%	24	3	13%	3	0	0%	0		
日本泌尿器科学会	11%		160	1	1%	20	0	0%	234	1	0%
日本皮膚科学会	44%		249	26	10%	16	0	0%	135	14	10%
日本肥満学会	0%	0%	251	11	4%	18	0	0%	120	10	8%
日本病理学会	21%	20%	1,513	167	11%	21	1	5%	241	33	14%
日本プライマリ・ケア連合学会	18%	13%	493	33	7%	59	5	8%	159	16	10%
日本平滑筋学会	8%		60	2	3%	13	1	8%	15	1	7%
日本法医学会	22%	15%	158	21	13%	14	0	0%	50	3	6%
日本保険医学会	15%	16%	48	5	10%	11	0	0%	92	12	13%

表3 女性評議員・役員・委員会委員

	女性 会員 (%)	女性 医師 (%)	評 議 員			役 員			全委員会		
			全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本麻酔科学会	34%	33%	288	20	7%	23	0	0%	224	15	7%
日本脈管学会	4%		433	1	0.2%	21	0	0%	*(23)	0	0%
日本民族衛生学会	49%	50%	151	26	17%				13	5	38%
日本免疫学会	21%		229	20	9%	20	0	0%	101	12	12%
日本薬理学会		0%	105	7	7%	19	1	5%	84	9	11%
日本輸血・細胞治療学会	49%	13%	217	25	12%	26	2	8%	500	39	8%
日本リウマチ学会	12%	12%	810	49	6%	21	0	0%	*(48)	0	0%
日本リハビリテーション医学会	13%	13%	193	14	7%	18	1	6%	108	13	12%
日本臨床検査医学会	24%	14%	267	17	6%	20	1	5%	227	18	8%
日本臨床細胞学会	43%	23%	330	22	7%	37	1	3%	262	31	12%
日本臨床腫瘍学会	19%	13%	307	13	4%	22	0	0%	180	5	3%
日本臨床薬理学会	35%	9%	181	12	7%	13	0	0%	128	16	13%
日本リンパ網内系学会	15%	15%	188	18	10%	11	0	0%	0		
日本レーザー医学会	24%	22%	80	5	6%	40	1	3%	188	4	2%
日本老年医学会	17%	14%	643	32	5%	23	0	0%	383	13	3%

(注) 全委員会の人数の*(): 全委員会の人数の回答はなかったが、各委員会(学会雑誌編集委員会、認定医・専門医制度関連委員会、倫理委員会、生涯教育委員会、男女共同参画・女性医師関連委員会)の記入を合計した数値です。

表4 各委員会における女性委員

	女性 会員 (%)	女性 医師 (%)	学会雑誌編集(和)			学会雑誌編集(英)			認定医・専門医制度			倫理委員会			生涯教育委員会		
			全体	女性	割合 (%)	全体	女性	割合 (%)	全体	女性	割合 (%)	全体	女性	割合 (%)	全体	女性	割合 (%)
日本アレルギー学会	23%	23%	11	2	18%	14	0	0%	43	2	5%	6	0	0%	8	0	0%
日本医学教育学会	17%		14	3	21%	*			11	3	27%	10	0	0%	31	7	23%
日本医学放射線学会	22%	22%				34	1	3%	35	0	0%	11	2	18%	21	1	5%
日本医史学会	16%		7	0	0%	1	0	0%	0			0			0		
日本移植学会	9%	6%	12	0	0%				22	0	0%	8	2	25%	12	0	0%
日本真菌学会	29%	32%	9	2	22%				5	1	20%	0			7	1	14%
日本医療機器学会		0%	14	1	7%	0			0			0			0		
日本医療・病院管理学会	30%	27%	7	2	29%				0			0			14	1	7%
日本ウイルス学会	21%	24%	28	3	11%	0			0			0			4	0	0%
日本衛生学会	28%		31	4	13%	*			0			7	1	14%	0		
日本衛生動物学会	13%	40%	15	2	13%	5	0	0%	0			0			0		
日本栄養・食糧学会	49%	9%	19	0	0%	22	1	5%	0			7	1	14%	0		
日本疫学会	35%		0			23	4	17%	0			10	3	30%	0		
日本温泉気候物理医学会	12%	10%	6	0	0%	*			5	0	0%	0			0		
日本解剖学会	18%	15%	8	0	0%	7	0	0%	0			7	0	0%	8	0	0%
日本化学療法学会	20%	20%	7	0	0%	31	0	0%	22	2	9%	0			0		
日本核医学会	20%	19%	12	1	8%	12	1	8%	15	1	7%	6	0	0%	15	1	7%
日本癌学会	14%		10	0	0%	0			0			7	1	14%	0		
日本眼科学会	41%	40%	11	1	9%	7	1	14%	24	0	0%	11	1	9%	0		
日本感染症学会	19%	17%	14	1	7%	32	0	0%	33	0	0%	0			0		
日本肝臓学会	11%	11%	7	1	14%	36	2	6%	23	1	4%	9	0	0%	10	1	10%
日本癌治療学会	10%	10%	0			57	0	0%	0			21	3	14%	15	1	7%
日本気管食道科学会	11%	11%	11	0	0%	0			13	1	8%	6	0	0%	0		
日本寄生虫学会	19%	13%	0			0			0			0			12	0	0%
日本救急医学会	10%	9%	16	0	0%	0			11	0	0%	5	0	0%	8	0	0%
日本胸部外科学会	4%	4%				31	0	0%	11	0	0%	8	0	0%	14	0	0%
日本形成外科学会	25%	25%	32	0	0%	4	0	0%	10	0	0%	11	1	9%	22	0	0%
日本外科学会	6%	6%				71	0	0%	53	1	2%	13	0	0%	24	0	0%
日本血液学会	21%		12	1	8%	22	0	0%	20	1	5%	11	0	0%	13	1	8%

表4 各委員会における女性委員

	女性 会員 (%)	学会雑誌編集(和)			学会雑誌編集(英)			認定医・専門医制度			倫理委員会			生涯教育委員会		
		女性 割合 (%)	女性 数	全体	女性 割合 (%)	女性 数	全体	女性 割合 (%)	女性 数	全体	女性 割合 (%)	女性 数	全体	女性 割合 (%)	女性 数	全体
日本結核病学会	20%	15%	13	2	15%	0	0	15	1	7%	0	0	6	0	0%	
日本血管外科学会	5%	5%	7	0	0%	45	0	0	0	0%	0	0	0	0	0%	
日本血栓止血学会	15%	10%	12	1	8%			0	0		5	2	0	2	40%	
日本高血圧学会	12%	0%			0			0	0		0	0	0	0	0%	
日本口腔科学会	15%	15%	26	1	4%	26	1	8	3	38%	10	0	0	0	0%	
日本公衆衛生学会	43%	0%	20	5	25%			8	3		7	2	0	2	29%	
日本交通医学会	20%	17%	17	1	6%	17	1	0	0							
日本呼吸器学会	18%		36	0	0%	1	0	28	0	0%	11	1	18	0	0%	
日本呼吸器外科学会			60	0	0%	0	0	9	0	0%	6	0	5	0	0%	
日本呼吸器内視鏡学会	13%	13%	32	0	0%	0	0	38	1	3%	0	0	0	0	0%	
日本産業衛生学会	47%	22%	42	9	21%	*		20	3	15%	7	3	12	4	33%	
日本産科婦人科学会	29%		10	0	0%			35	3	9%	21	4	31	0	0%	
日本耳鼻咽喉科学会	21%	21%	7	0	0%	10	0	8	1	13%	0	0	0	0	0%	
日本周産期・新生児医学会	32%	32%	7	1	14%			56	0	0%	8	2	8	0	0%	
日本集中治療医学会	34%	18%	16	1	6%			8			8		0			
日本循環器学会	12%	12%	15	1	7%	35	0	21	2	10%	11	0	12	1	8%	
日本消化器病学会	11%	11%	19	0	0%	49	2	46	2	4%	5	1	9	0	0%	
日本消化器外科学会	5%	5%	24	0	0%			66	0	0%	7	0	8	0	0%	
日本消化器内視鏡学会	13%	13%	17	0	0%	20	0	61	2	3%	7	0	12	0	0%	
日本小児科学会	34%	34%	16	2	13%	12	1				8	1	15	0	0%	
日本小児外科学会	12%	12%	8	0	0%	*		16	0	0%	11	2	11	0	0%	
日本小児神経学会	40%	40%	21	2	10%	33	5	19	3	16%	6	2	14	3	21%	
日本職業・災害医学会	38%	7%	31	1	3%	0	0	13	1	8%	0	0	0	0	0%	
日本自律神経学会	15%	12%	23	2	9%	0	0	0	0		0	0	7	1	14%	
日本神経学会	20%	20%	11	0	0%			21	3	14%	9	3	33	0	0%	
日本神経病理学会	16%	14%	29	0	0%	23	0	7	0	0%	0	0	12	1	8%	
日本人工臓器学会	7%	7%														
日本心身医学会	35%	23%	14	1	7%	16	2	9	1	11%	6	1	6	1	17%	
日本腎臓学会	22%	21%	25	2	8%	*		12	2	17%	7	2	66	10	15%	

表4 各委員会における女性委員

	女性 会員 (%)		女性 医師 (%)		学会雑誌編集(和)				学会雑誌編集(英)				認定医・専門医制度				倫理委員会				生涯教育委員会							
	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性	全体	女性
日本心臓血管外科学会	4%	0	0	0%	0	0	0	0%	12	0	0	0%	5	0	0	0%	9	0	0	0%	16	0	0	0%	0	0	0	0%
日本人類遺伝学会	28%	50	2	4%	19	0	0%	17	1	6%	9	3	33%	9	3	33%	13	6	46%	13	6	46%	13	6	46%	13	6	46%
日本整形外科学会	5%	10	0	0%				10	0	0%	9	1	11%	9	1	11%	10	0	0%	9	0	0%	10	0	0	0	0	0%
日本生殖医学会	35%	22	0	0%	*			10	0	0%	12	1	8%	12	1	8%	12	1	8%	12	1	8%	12	1	8%	12	1	8%
日本生体医工学会	3%	45	0	0%				0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	16	0	0	0	0	0%
日本生理学会	15%	22	5	23%	56	3	5%	0	0	0%	13	3	23%	13	3	23%	13	3	23%	13	3	23%	13	3	23%	13	3	23%
日本先天異常学会	19%	27	3	11%	11	1	9%	10	1	10%	8	4	50%	8	4	50%	6	1	17%	6	1	17%	6	1	17%	6	1	17%
日本大腸肛門病学会	5%	17	0	0%	0	0	0%	14	0	0%	11	1	9%	11	1	9%	14	0	0%	11	1	9%	14	0	0	0	0	0%
日本体力医学会	22%	24	0	0%	10	0	0%	0	0	0%	3	0	0%	3	0	0%	0	0	0%	3	0	0%	0	0	0	0	0	0%
日本超音波医学会	37%	17	2	12%	17	2	12%	26	2	8%	8	0	0%	8	0	0%	16	3	19%	8	0	0%	16	3	19%	8	0	0%
日本手外科学会	8%	11	0	0%	41	0	0%	54	0	0%	8	2	25%	8	2	25%	9	0	0%	8	2	25%	9	0	0	0	0	0%
日本透析医学会	18%	25	0	0%	13	3	23%	103	4	4%	8	0	0%	8	0	0%	0	0	0%	8	0	0%	0	0	0	0	0	0%
日本糖尿病学会	30%	24	1	4%	24	2	8%	38	1	3%	8	1	13%	8	1	13%	0	0	0%	8	1	13%	0	0	0	0	0	0%
日本動脈硬化学会	8%	27	2	7%	18	1	6%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	10	0	0%	0	0	0%	10	0	0	0	0	0%
日本東洋医学会	16%	27	0	0%	*			19	3	16%	11	1	9%	11	1	9%	15	2	13%	11	1	9%	15	2	13%	11	1	9%
日本内科学会	20%	27	0	0%	37	0	0%	45	0	0%	10	0	0%	10	0	0%	0	0	0%	10	0	0%	0	0	0	0	0	0%
日本内視鏡外科学会	5%	6	0	0%	0	0	0%	15	0	0%	8	0	0%	8	0	0%	15	0	0%	8	0	0%	15	0	0	0	0	0%
日本内分泌学会	26%	3	0	0%	31	1	3%	66	3	5%	3	0	0%	3	0	0%	81	30	37%	3	0	0%	81	30	37%	3	0	0%
日本乳癌学会	7%	14	2	14%	14	2	14%	68	9	13%	8	2	25%	8	2	25%	38	16	42%	8	2	25%	38	16	42%	8	2	25%
日本熱帯医学会	18%	18	2	11%	18	2	11%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0	0	0	0%
日本脳神経外科学会	5%	0	0	0%	49	0	0%	35	0	0%	7	0	0%	7	0	0%	0	0	0%	7	0	0%	0	0	0	0	0	0%
日本脳卒中学会	0%	16	0	0%	33	0	0%	18	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0	0	0	0%
日本農村医学会	5%	7	0	0%	5	0	0%	0	0	0%	6	0	0%	6	0	0%	0	0	0%	6	0	0%	0	0	0	0	0	0%
日本ハンセン病学会	17%	8	0	0%	*			0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0	0	0	0%
日本泌尿器科学会	11%	15	1	7%	33	1	3%	24	0	0%	7	0	0%	7	0	0%	7	0	0%	7	0	0%	7	0	0	0	0	0%
日本皮膚科学会	44%	12	1	8%				11	2	18%	5	0	0%	5	0	0%	8	0	0%	5	0	0%	8	0	0	0	0	0%
日本肥満学会	0%	4	2	50%	28	3	11%	57	4	7%	7	1	14%	7	1	14%	8	1	13%	7	1	14%	8	1	13%	7	1	14%
日本病理学会	21%	10	1	10%	10	1	10%	26	2	8%	8	3	38%	8	3	38%	26	2	8%	8	3	38%	26	2	8%	8	3	38%
日本プライマリ・ケア連合学会	18%	10	1	10%	10	1	10%	26	2	8%	8	3	38%	8	3	38%	26	2	8%	8	3	38%	26	2	8%	8	3	38%

表4 各委員会における女性委員

	女性 会員 (%)	学会雑誌編集(和)			学会雑誌編集(英)			認定医・専門医制度			倫理委員会			生涯教育委員会		
		全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)	全体	女性	女性 割合 (%)
日本平滑筋学会	8%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0	0	0%	
日本法医学学会	22%	7	0	0%	7	0	0%	6	0	0%	8	2	25%	8	0	0%
日本保険医学学会	15%	5	0	0%	5	0	0%	6	1	17%	0	0	0%	6	1	17%
日本麻酔科学学会	34%	2	0	0%	20	0	0%	32	3	9%	6	0	0%	8	2	25%
日本脈管学会	4%	8	0	0%	*	0	0%	15	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
日本民族衛生学会	49%	13	5	38%	*	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
日本免疫学会	21%	12	1	8%	7	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	6	2	33%
日本薬理学会	0%	12	1	8%	12	1	8%	0	0	0%	8	1	13%	9	2	22%
日本輸血・細胞治療学会	49%	25	0	0%	40	2	5%	40	2	5%	7	0	0%	7	0	0%
日本リウマチ学会	12%	0	0	0%	10	0	0%	31	0	0%	0	0	0%	7	0	0%
日本リハビリテーション医学会	13%	10	1	10%	9	2	22%	9	2	22%	6	0	0%	9	0	0%
日本臨床検査医学学会	24%	18	1	6%	37	3	8%	37	3	8%	8	1	13%	14	1	7%
日本臨床細胞学会	43%	13	0	0%	25	1	4%	25	1	4%	12	1	8%	17	2	12%
日本臨床腫瘍学会	19%	7	1	14%	*	0	0%	39	1	3%	6	0	0%	38	1	3%
日本臨床薬理学会	35%	6	0	0%	*	0	0%	11	1	9%	0	0	0%	0	0	0%
日本リンパ網内系学会	15%	33	2	6%	29	2	7%	29	2	7%	2	0	0%	29	1	3%
日本レーザー医学会	17%	21	0	0%	87	5	6%	34	0	0%	13	4	31%	34	0	0%

* : 学会雑誌編集委員会は和英共通のため、(和)に人数記載

注)正確に人数を把握していない場合には、おおよその数を答えてください。

1. 貴学会名()
2. 最近(2010年度末付近)の貴学会の会員数()人、うち女性会員数()人
3. 貴学会の会員のうち医師数()人、うち女性医師数()人
4. 2010年度入会の医師数()人、うち女性医師数()人
5. 貴学会の評(代)議員数()人、 役員数()人
うち女性評(代)議員数()人、女性の役員数()人
6. 貴学会には専門医・認定医の制度がありますか。当てはまる項目に○を
ある()→専門医()、認定医()
ない()
7. 6で、「ある」と答えた学会に伺います。人数をお答えください。
専門医数()人、 認定医数()人
うち女性の専門医数()人、女性の認定医数()人
8. 専門医・認定医更新期間の延長に関して当てはまる項目に○を
延長あり()→留保条件無し()、留保条件有り()
延長なし()
9. 8で、「延長あり」、「留保条件有り」の場合、専門医・認定医制度の更新期間留保条件について、
①認める、②認めない、③未定、④場合による、から選び答えてください。
国外留学()、病気()、天災などやむを得ない場合()、
認定委員の承認()、妊娠・出産()、育児休業()、介護()
10. 委員会の構成人数についてお答えください。
注)もし、委員会自体が無い場合は委員数に0と記入してください。
①全委員会での 委員数()人、 うち女性委員数()人
②学会雑誌編集委員会の委員数(和 /英)人、うち女性委員数(和 /英)人
③認定医・専門医制度関連委員会の委員数()人、うち女性委員数()人
④倫理委員会の 委員数()人、 うち女性委員数()人
⑤生涯教育委員会の 委員数()人、 うち女性委員数()人
⑥男女共同参画・女性医師関連委員会の委員数()人、うち女性委員数()人
11. 貴学会には、女性医師支援・男女共同参画に関連する下部組織は有していますか
ある()、ない()
12. 11で「ある」と答えた場合にうかがいます
昨年度にその下部組織の委員会は何回開催されましたか。()回
13. 女性医師支援・男女共同参画関連の外部団体はありますか。
ある()、ない()
14. 昨年度の学術集会で女性医師支援・男女共同参画関連のセッションはありましたか。
あった(セッション名:日本肝臓学会男女共同企画参画委員会に何を求めるのか)、
なかった()
15. 貴学会で行っている女性医師の支援策をお書きください。

発行日 2012年5月15日

作 成 一般社団法人日本外科学会 女性医師支援委員会

〒105-6108 東京都港区浜松町2-4-1

世界貿易センタービル8階

TEL:03-5733-4094 FAX:03-5473-8864